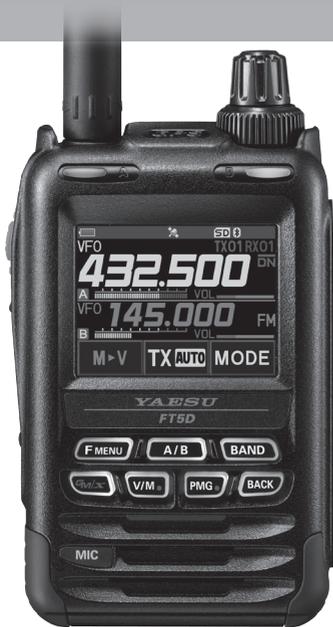


**YAESU**  
The radio

C4FM/FM 144/430MHz  
DUAL BAND DIGITAL TRANSCEIVER

**FT5D**

取扱説明書 詳細編



製品の仕様・外観等は改良のため予告なく変更することがあります。  
この取扱説明書に記載の社名・商品名等は、各社の商標または登録商標です。  
この無線機を使用するには、総務省のアマチュア無線局の免許が必要です。  
また、アマチュア無線以外の通信には使用できません。  
この取扱説明書は、詳細な機能に関する説明が記載されています。  
基本的な操作に関する説明は、本製品に同梱の取扱説明書をお読みください。

# 目次

<b>デジタルパーソナルID (DP-ID)機能</b> .....	<b>6</b>
デジタルパーソナルID (DP-ID)機能とは .....	6
相手局のDP-IDを登録する .....	6
<b>アナログFMモードで特定の相手局と交信する</b> .....	<b>9</b>
アナログFMモードのスケルチの種類を選択する .....	9
<b>トーンスケルチ機能</b> .....	<b>10</b>
トーン周波数を設定する .....	10
相手局が使用しているトーンスケルチの周波数を探す .....	11
<b>デジタルコードスケルチ (DCS) 機能</b> .....	<b>11</b>
DCSコードを設定する .....	11
相手局が使用しているDCSコードを探す .....	12
<b>ページャー (EPCS) 機能</b> .....	<b>13</b>
ページャー機能を使う .....	13
ページャーコードを設定する .....	13
特定の局を呼び出す .....	14
相手局から呼び出し(待ち受け動作) .....	15
自動応答機能(アンサーバック)を使う .....	15
<b>相手からの呼び出しを知らせるベル機能</b> .....	<b>15</b>
<b>メモリー機能</b> .....	<b>16</b>
<b>メモリーチャンネルリスト機能</b> .....	<b>16</b>
<b>メモリーチャンネルだけを使うメモリーオンリーモード</b> .....	<b>16</b>
<b>メモリーバンクを使う</b> .....	<b>17</b>
メモリーバンクに登録する .....	17
メモリーバンク表示に切り替える .....	18
メモリーバンクの選択 .....	18
メモリーバンクへの登録を解除する .....	19
メモリーバンクに名前をつける .....	19
<b>スプリットメモリー</b> .....	<b>20</b>
<b>スキップメモリー/指定メモリーを設定する</b> .....	<b>21</b>
<b>スキャンしたくない周波数をスキップする(スキップサーチメモリー)</b> .....	<b>22</b>
<b>スキャン機能</b> .....	<b>23</b>
<b>プログラマブルメモリースキャン (PMS)</b> .....	<b>23</b>
プログラマブルメモリーに書き込む .....	23
プログラマブルメモリースキャンをする .....	23
<b>メモリーバンクスキャン</b> .....	<b>24</b>
<b>メモリーバンクリンクスキャン</b> .....	<b>24</b>
バンクリンクを設定する .....	24
バンクリンクスキャンをする .....	24
<b>デュアルレシーブ (D.RCV) 機能</b> .....	<b>25</b>
プライオリティメモリーチャンネルを設定する .....	25
デュアルレシーブ(D.RCV)機能を使う .....	26
デュアルレシーブ停止時の動作を設定する .....	26
<b>GPS機能</b> .....	<b>27</b>
<b>GPSとは?</b> .....	<b>27</b>
<b>GPS機能を動作させる</b> .....	<b>27</b>

デジタルモードで相手局の位置情報を表示させる .....	27
GPS情報を記録する (GPSログ機能) .....	28
パソコンで移動軌跡を確認する .....	28
GPSインフォメーション画面 .....	29
スマナビ (スマートナビゲーション) 機能 .....	30
リアルタイムナビゲーション機能 .....	30
バックトラック機能 .....	30
<b>必要に応じて使う機能 .....</b>	<b>32</b>
<b>AF DUAL機能 .....</b>	<b>32</b>
ラジオ受信の再開動作の設定 .....	33
<b>DTMF機能 .....</b>	<b>33</b>
DTMFメモリーを登録する .....	33
DTMFコードの送出方法を変更する .....	33
DTMFメモリーを使ってDTMFコードを自動で送出する .....	34
手でDTMFコードを送出する .....	34
<b>JRの空線信号音を消す (空線スケルチ機能) .....</b>	<b>34</b>
<b>JR以外の空線信号音を消す (可変型空線スケルチ機能) .....</b>	<b>34</b>
<b>パケット通信 .....</b>	<b>35</b>
<b>クローン操作 .....</b>	<b>36</b>
<b>パソコンとの接続 .....</b>	<b>37</b>
ファームウェアアップデート .....	37
<b>設定を初期値に戻す (リセット) .....</b>	<b>38</b>
<b>オールリセット .....</b>	<b>38</b>
<b>セットアップメニューリセット .....</b>	<b>38</b>
<b>セットアップメニュー .....</b>	<b>39</b>
<b>セットアップメニューの操作方法 .....</b>	<b>39</b>
<b>セットアップメニュー機能の一覧表 .....</b>	<b>40</b>
<b>セットアップメニューの詳細 .....</b>	<b>47</b>
<b>DISPLAYメニュー .....</b>	<b>47</b>
1 位置情報表示 .....	47
2 画面上側方位 .....	47
3 バンドスコープ .....	47
4 ランプ .....	47
5 言語設定 .....	48
6 LCD 画面輝度 .....	48
7 表示色設定 .....	48
8 オープニング メッセージ .....	49
9 センサー インフォメーション .....	49
10 ソフトウェア バージョン .....	49
<b>TX/RXメニュー .....</b>	<b>49</b>
<b>1 モード .....</b>	<b>49</b>
1 アッテネーター .....	49
2 FM変調帯域幅 .....	50
3 受信モード 設定 .....	50
<b>2 デジタル .....</b>	<b>50</b>
1 ポップアップ設定 .....	50
2 位置情報ON/OFF .....	50

3	スタンバイビープ .....	51
4	DIGITAL VW 設定 .....	51
5	オーディオピッチ .....	51
<b>3</b>	<b>オーディオ .....</b>	<b>51</b>
1	マイクゲイン .....	51
2	ミュート .....	52
3	RX AF DUAL .....	52
4	SP 切り替え .....	52
5	VOX 設定 .....	52
6	録音設定 .....	52
	<b>MEMORYメニュー .....</b>	<b>53</b>
1	バンクリンク 設定 .....	53
2	バンクネーム 設定 .....	53
3	メモリーネーム 設定 .....	53
4	メモリー プロテクト .....	53
5	メモリー スキップ .....	53
6	メモリー 書き込み方法 .....	53
	<b>SIGNALINGメニュー .....</b>	<b>54</b>
1	ベル 設定 .....	54
2	DCS コード .....	54
3	DCS 位相反転 .....	54
4	DTMF 動作設定 .....	54
5	DTMF メモリー 設定 .....	54
6	ページャー 動作設定 .....	54
7	私鉄空線周波数 .....	54
8	スケルチ レベル .....	55
9	Sメーター スケルチ .....	55
10	スケルチ 拡張機能 .....	55
11	スケルチ タイプ .....	55
12	TSQ 周波数 .....	55
13	TONE サーチ 設定 .....	56
	<b>SCANメニュー .....</b>	<b>56</b>
1	DW インターバル .....	56
2	SCAN ランプ .....	56
3	SCAN リスタート .....	56
4	SCAN RESUME .....	57
5	SCAN 帯域設定 .....	57
6	プライオリティ リバート .....	58
	<b>GMメニュー .....</b>	<b>58</b>
	<b>WIRES-Xメニュー .....</b>	<b>58</b>
	<b>CONFIGメニュー .....</b>	<b>58</b>
1	オートパワーオフ 設定 .....	58
2	受信CH送信ロック .....	59
3	BEEP .....	59
4	BEEP レベル .....	59
6	クロック タイプ .....	60
7	GPS ログインターバル .....	60
8	HOME VFO .....	60
9	ロックモード .....	61

10 モニター/T-CALL .....	61
11 TIMER設定 .....	61
12 パスワード 設定 .....	62
13 PTT ディレイ .....	62
14 RPT ARS .....	62
15 RPT シフト .....	63
16 RPT シフト 周波数 .....	63
17 受信 セーブ 設定 .....	63
18 周波数ステップ .....	63
19 日付時刻設定 .....	64
20 TOT .....	64
21 VFO MODE .....	64
22 BAND 選択設定 .....	65
23 ダイアルノブ入れ換え .....	65
<b>APRSメニュー .....</b>	<b>65</b>
<b>SD CARDメニュー .....</b>	<b>65</b>
1 バックアップ .....	65
2 メモリー チャンネル .....	66
3 メモリー 情報 .....	66
4 フォーマット .....	66
<b>OPTIONメニュー .....</b>	<b>66</b>
1 USB カメラ .....	66
2 Bluetooth .....	67
3 Bluetooth デバイスリスト .....	67
4 Bluetooth オーディオ .....	67
<b>CALLSIGNメニュー .....</b>	<b>67</b>
<b>付録 .....</b>	<b>68</b>
<b>microSDメモリーカードのフォルダ構成 .....</b>	<b>68</b>
<b>プリセットレシーバーのチャンネルリスト .....</b>	<b>69</b>
プリセットレシーバーを呼び出す .....	69
AM・FMラジオ (227チャンネル) .....	70
特定小電力 (20チャンネル) .....	73
短波放送 (89チャンネル) .....	73
ワイヤレスC (13チャンネル) .....	74
救急無線 (20チャンネル) .....	75
消防無線 (85チャンネル) .....	75
鉄道無線 (19チャンネル) .....	76
国際VHF (57チャンネル) .....	77
<b>故障かな?と思ったら .....</b>	<b>78</b>

## ●この取扱説明書の読みかた

- 操作を行う時の記載は、次のように表記します。

【○○】………… ディスプレイにタッチする項目は【 】で囲んで示します。

[○○]………… フロントパネルの操作キーは[ ]で囲んで示します。

- 本機のディスプレイに表示されている項目を選択する操作は、“ディスプレイ上の項目に直接タッチする”と、“DIAL ツマミをまわして項目を選択してから [F MENU] キーを押す”の2種類の操作があります。そのため本書では、どちらの操作もできる場合には、タッチ操作のみ記載しています。

- 本書では、次のような表記も使用します。



注意していただきたい内容を説明します。



操作上のアドバイスや知っておくと便利なことを説明します。

製品の改良のため、取扱説明書のイラストなどの一部が実際の製品と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

## デジタルパーソナルID (DP-ID)機能

### デジタルパーソナルID (DP-ID)機能とは

C4FMデジタル通信では、送信電波に個々のトランシーバーが持つ個別ID情報が含まれています。DP-ID機能は、この個別ID情報を使ってグループ通信を行うものです。

家族や親しい友人とお互いのトランシーバーに相手局のDP-IDを登録しておけば、仲間とのグループ通信に普段使っているデジタルグループID (DG-ID) ナンバーが、お互いに異なっている場合でも、DG-ID ナンバーを変更して合わせることなく、PTTスイッチを押すだけでそのまま交信ができます。

DP-IDに対応したC4FMデジタルレピータでは、レピータにトランシーバーのDP-IDを登録しておけば、DG-IDの設定に関係なくレピータを使うことやレピータが使用中でも優先的に緊急時の連絡を行うことができます。



- この機能を利用するためにはDP-ID機能を持ったC4FMデジタルトランシーバーが必要です。
- DP-ID機能に対応していないC4FMデジタルトランシーバーは、最新のファームウェアにアップデートすることでDP-ID機能をお使いいただけます。最新のファームウェアは当社のウェブサイトからダウンロードできます。

### 相手局のDP-IDを登録する



- DP-IDは一度登録すれば削除するまで記憶されています。
- お互いのトランシーバーが近くにある状態で登録してください。
- 受信のDG-IDコードを“00”に設定していると、常に全てのC4FMデジタル局の信号を受信しますので、DP-ID機能を使うときは受信のDG-IDコードを“00”以外に設定することをおすすめします。

#### 1. [F MENU]キーを長押し → [GM]にタッチ → [1 DP-ID LIST]にタッチ

- DP-IDリストが表示されます。
- 複数のDP-IDが登録されているときは、DIALツマミをまわして表示できます。



2. この状態で登録する相手局のトランシーバーをC4FMデジタルモードで送信します。

相手局の信号を受信すると、ディスプレイに相手局のコールサインと“REGISTRATION?”と表示されます。



- すでに登録されているトランシーバーの信号を受信したときはディスプレイに表示されません。
- すでに登録されているトランシーバーを異なるコールサインで登録したときは、すでにDP-IDリストに登録されているコールサインが変更されます。



3. **[OK]**にタッチすると登録します。

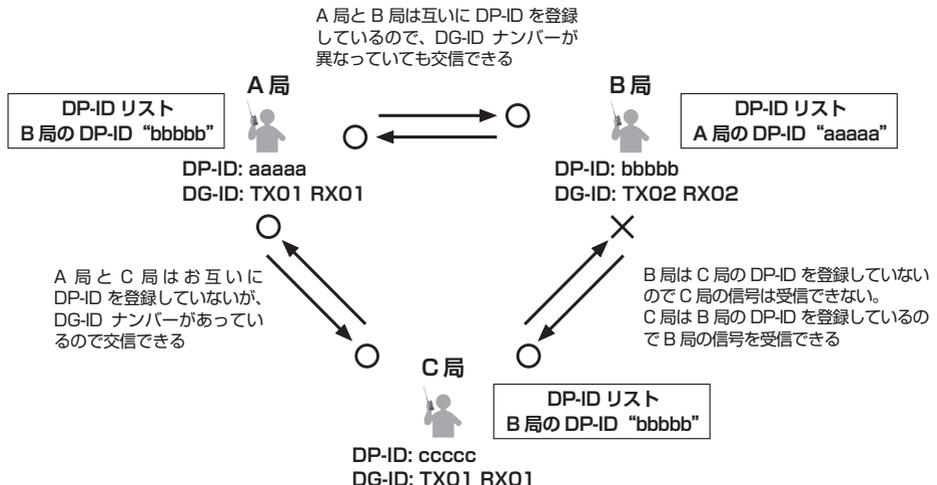
- 登録を完了すると“COMPLETED”と表示されて、その後DP-IDリスト画面に戻ります。
- 続けて登録をする場合は、手順2と3を繰り返します。
- 最大24局まで登録できます。

4. PTTスイッチを押すと、通常画面に戻ります。

- 相手局のトランシーバーにも、同様の操作をして交信をするすべてのトランシーバーのDP-IDを登録します。
- 以上でDP-IDの設定は終わりです。



DP-IDを使って通信をするには、お互いに相手局のトランシーバーのDP-IDを、自局のトランシーバーに登録しておきます。DP-IDを登録していれば、デジタルグループID (DG-ID) が異なっても交信することができます。

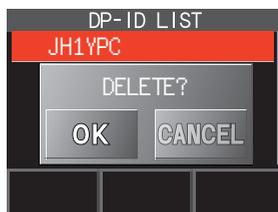


### ● 登録したDP-IDを削除する

1. [F MENU]キーを長押し → [GM]にタッチ → [1 DP-ID LIST]にタッチ  
DP-IDリストが表示されます。



2. DIALツマミをまわして削除するトランシーバーのコールサインを選択して、[DEL]にタッチします。  
“DELETE?”とディスプレイに表示されます。



3. [OK]にタッチして削除します。
  - 削除を完了すると約3秒間“COMPLETED”と表示されます。
  - 続けて削除をする場合は、手順2と3を繰り返します。
4. PTTスイッチを押すと、通常画面に戻ります。

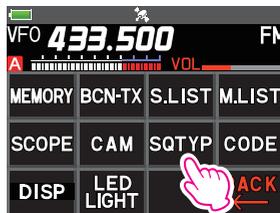
# アナログFMモードで特定の相手局と交信する

## アナログFMモードのスケルチの種類を選択する

- [F MENU]キーを押す → [SQ TYP] にタッチ  
[SQ TYP]が表示されていないときは、[FWD→]にタッチして[SQ TYP]を表示させてタッチします。



[F MENU]キーを長押し → [SIGNALING]にタッチ →  
【11 スケルチタイプ】にタッチしても設定できます。



- DIALツマミをまわして、下表を参考にスケルチの種類を選択します。



トーンスケルチやDCS、新ページャーなどのスケルチ機能は、C4FMデジタルモードでは動作しませんので、[MODE]にタッチしてアナログFMモードに切り替えるか、またはAMS機能を有効にしてください。

スケルチ種類	表示	スケルチの動作説明
OFF	—	トーンスケルチやDCSなどがオフになり、アナログFMモードの通常のスケルチ動作となります
TONE	<b>TN</b>	トーンを含んだ信号を送信します 受信は通常のスケルチ動作となります
TONE SQL	<b>TSQ</b>	トーンスケルチがオンになります
DCS	<b>DCS</b>	デジタルコードスケルチ(DCS)がオンになります 023～754の中から104種類のコードが設定ができます
REV TONE	<b>RTN</b>	リバーストーンがオンになります 通話していないときにトーン信号が含まれ、通話を開始するとトーン信号が含まれない方式の通信を受信するときに使用します
JR FREQ	<b>JR</b>	JRの空線スケルチ機能がオンになります 通話していないときに聴こえる“ピー”という2280Hzの空線信号音を消すことができます
PR FREQ	<b>PR</b>	JR以外の空線スケルチ機能がオンになります 空線信号音の周波数にあわせて300～3000Hzの範囲で100Hzステップで周波数を設定できます
PAGER	<b>PAG</b>	新ページャ機能がオンになります 仲間同士で運用中に、個別コードを設定して特定の局を呼び出すことができます
D CD <sup>*</sup>	<b>DC</b>	DCSコードを含んだ信号を送信します 受信時は通常のスケルチ動作となります
TONE-DCS <sup>*</sup>	<b>T-D</b>	送信時にトーン信号を含んだ信号を送信し、受信時にはDCSコードが一致した信号だけを受信します
D CD-TONE SQL <sup>*</sup>	<b>D-T</b>	送信時にDCSコードを含んだ信号を送信し、受信時にトーンが一致した信号だけを受信します

※: [F MENU]キーを長押し → [SIGNALING]にタッチ → 【10 スケルチ 拡張機能】にタッチして“ON”に設定すると、“D CD”と“TONE-DCS”、“D CD-TONE SQL”の設定項目が選択できます。

- PTTスイッチを押すと設定が保存され、通常画面に戻ります。

- 
- スケルチの種類は周波数帯(BAND)ごとに設定できます。
  - トーンスケルチやDCSの設定は、スキャン動作時も機能します。トーンスケルチやDCSが機能している状態でスキャンすると、一致する周波数のトーンやDCSコードが含まれている信号を受信したときだけスキャンが停止します。
  - **BACK/T-CALL**キーを押すと、トーンやDCSコードが含まれていない信号や異なるトーンやDCSコードの信号およびデジタルモードの信号を聞けます。
  - **[F MENU]**キーを長押し → **[SIGNALING]**にタッチ → **[3 DCS 位相反転]**にタッチして、送受信それぞれで反転/非反転した位相のDCSコードの組み合わせを設定できます。
- 

## トーンスケルチ機能

トーンスケルチ機能を使うと、設定した周波数のトーンが含まれた信号を受信したときだけスケルチが開きます。トーンスケルチを使うと、特定の局からの呼び出しを待ち受けている間も、他局の信号は受信しません。

- 
- トーンスケルチはデジタルモードでは動作しませんので、**[MODE]**にタッチしてアナログFMモードに切り替えるか、またはAMS機能を有効にしてください。
- 

## トーン周波数を設定する

トーン周波数は、67.0～254.1 Hzの50種類から選択できます。

1. **[F MENU]**キーを押す → **[SQ TYP]**にタッチ

**[SQ TYP]**が表示されていないときは、**[FWD→]**にタッチして**[SQ TYP]**を表示させてタッチします。

- 
- **[F MENU]**キーを長押し → **[SIGNALING]**にタッチ → **[12 TSQ 周波数]**にタッチしても設定できます。
- 

2. DIALツマミをまわして、“**TONE SQL**”(TSQ)を選択します。
3. **[BACK]**キーを押すと、通常画面に戻ります。
4. **[F MENU]**キーを押す → **[CODE]**にタッチ
5. DIALツマミをまわして、トーン周波数を選択します。
6. **[BACK]**キーを押すと、通常画面に戻ります。



- 
- トーン周波数の設定は、下記のスケルチの種類で共通です。  
TONE、TONE SQL、REV TONE、TONE-DCS、D CD-TONE SQL
  - 工場出荷時は“88.5Hz”に設定されています。
-

## 相手局が使用しているトーンスケルチの周波数を探す

相手局のトーンスケルチの周波数を調べることができます。



トーンサーチ機能はデジタルモードでは動作しませんので、[MODE]にタッチしてアナログFMモードに切り替えるか、AMS機能を有効にしてください。



- トーンサーチをするには、あらかじめ通信モードを“アナログFM”にして、スケルチタイプの設定を“TSQ”に設定してください。
- サーチが一時停止したときの動作は、[F MENU]キーを長押し → [SCAN]にタッチ → [4 SCAN RESUME]にタッチしても設定できます。この設定は各種スキャン機能のほか、トーンサーチ機能、DCSサーチ機能で共通です。

- [F MENU]キーを押す → [SQ TYP]にタッチ  
[SQ TYP]が表示されていないときは、[FWD→]にタッチして[SQ TYP]を表示させてタッチします。
- DIALツマミをまわして、“TONE SQL”(TSQ)を選択します。
- [BACK]キーを押すと、通常画面に戻ります。
- [F MENU]キーを押す → [CODE]にタッチ  
トーン周波数の設定画面が表示されます。
- [SEARCH]にタッチします。
  - トーン周波数のサーチが開始されます。
  - 一致したトーン周波数が見つかったら、ピープ音が鳴りトーン周波数が点滅表示します。サーチが一時停止して約5秒間、受信音を聞くことができます。
  - 一時停止中に[BACK]キー、またはPTTスイッチを押すとサーチしたトーン周波数を設定して通常画面に戻ります。
- [STOP]にタッチするとサーチが停止します。
- [BACK]キーを押すと、トーン周波数の設定を保存して通常画面に戻ります。



## デジタルコードスケルチ(DCS)機能

デジタルコードスケルチ(DCS)機能を使うと、設定したDCSコードが含まれた信号を受信したときだけスケルチが開きます。

DCSコードは、023～754の104種類から選択できます。



デジタルコードスケルチ(DCS)はデジタルモードでは動作しませんので、[MODE]にタッチしてアナログFMモードに切り替えるか、またはAMS機能を有効にしてください。

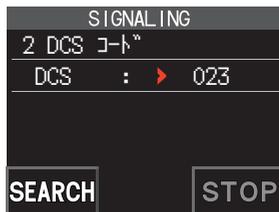
## DCSコードを設定する



[F MENU]キーを長押し → [SIGNALING] → [2 DCSコード]でも設定できます。

- [F MENU]キーを押す → [SQ TYP]にタッチ  
[SQ TYP]が表示されていないときは、[FWD→]にタッチして[SQ TYP]を表示させてタッチします。
- DIALツマミをまわして、“DCS”を選択します。

3. PTTスイッチを押すと、通常画面に戻ります。
4. **[F MENU]**キーを押す → **[CODE]** にタッチ
5. DIALツマミをまわして、DCSコードを選択します。
6. **[BACK]**キーを押すと、通常画面に戻ります。



- DCSコードの設定は、下記のスケルチの種類で共通の設定です。  
DCS、D CODE、T DCS、D TONE
- 工場出荷時はDCSコードは“023”に設定されています。

## 相手局が使用しているDCSコードを探す

相手局のDCSコードを調べることができます。



- DCSサーチをするには、あらかじめ通信モードを“アナログFM”にして、スケルチタイプの設定を“DCS”に設定してください。
- サーチが停止したときの動作は、**[F MENU]**キーを長押し → **[SCAN]** → **[4 SCAN RESUME]** で設定できます。この設定は各種スキャン機能のほか、トーンサーチ機能、DCSサーチ機能で共通です。

1. **[F MENU]**キーを押す → **[SQTYP]**にタッチ  
**[SQTYP]**が表示されていないときは、**[FWD→]**にタッチして**[SQTYP]**を表示させてタッチします。
2. DIALツマミをまわして、“DCS”を選択します。
3. PTTスイッチを押すと設定が保存され、通常画面に戻ります。
4. **[F MENU]**キーを押す → **[CODE]** にタッチ  
DCSコードの設定画面が表示されます。
5. **[SEARCH]**にタッチします。
  - DCSコードのサーチが開始されます。
  - 一致したDCSコードが見つかったら、ビープ音が鳴りDCSコードが点滅表示します。サーチが一時停止して約5秒間、受信音を聞くことができます。
  - 停止中にPTTスイッチを押すとサーチしたDCSコードを設定して送信します。
6. **[STOP]**にタッチするとサーチが停止します。
7. **[MONI]**キーを押すと、DCSコード設定を保存して通常画面に戻ります。



サーチが停止したときの動作は、**[F MENU]**キーを長押し → **[SCAN]** → **[4 SCAN RESUME]** で設定できます。この設定は各種スキャン機能のほか、トーンサーチ機能、DCSサーチ機能で共通です。

## ページャー(EPCS)機能

仲間同士で運用中に、それぞれの個別コード(2つのCTCSSトーンを使用したコード)を設定すると、特定の局だけが呼び出せます。呼び出されたときに無線機の近くにいない場合でも、ディスプレイの表示で呼び出しがあったことがわかります。



ページャー(EPCS)機能はデジタルモードでは動作しませんので、**[MODE]**にタッチしてアナログFMモードに切り替えるか、またはAMS機能を有効にしてください。

### ページャー機能を使う

1. **[F MENU]**キーを押す → **[SQ TYP]**にタッチ  
**[SQ TYP]**が表示されていないときは、**[FWD→]**にタッチして**[SQ TYP]**を表示させてタッチします。
2. DIALツマミをまわして、“**PAGER**”を選択します。
3. PTTスイッチを押すと、通常画面に戻ります。

### ページャーコードを設定する

自分が呼び出されるときの“ページャーコード”を設定します。



**[F MENU]**キーを長押し → **[SIGNALING]** → **[6 ページャー 動作設定]**でも設定できます。

1. 前項の“ページャー機能を使う”を参照して、ページャー機能を動作させます。
2. **[F MENU]**キーを押す → **[CODE]** にタッチ  
**[CODE]**が表示されていないときは、**[FWD→]**にタッチして**[CODE]**を表示させてタッチします。
3. DIALツマミをまわして、“**CODE-RX**”を選択します。

SIGNALING	
6 ページャー 動作設定	
ANS-BACK:	OFF
▶ CODE-RX :	05 47
CODE-TX :	05 47

4. **[F MENU]**キーを押すと、カーソル▶が1番目のコードに移動します。  
DIALツマミをまわして、1番目のコードを01~50から選択します。

SIGNALING	
6 ページャー 動作設定	
ANS-BACK:	OFF
CODE-RX :	▶05 47
CODE-TX :	05 47

5. **[F MENU]**キーを押すと、カーソル▶が2番目のコードに移動します。
  - DIALツマミをまわして、2番目のコードを01~50から選択します。
  - 1番目のコードと2番目のコードを同じコードに設定することはできません。

SIGNALING	
6 ページャー 動作設定	
ANS-BACK:	OFF
CODE-RX :	05 ▶47
CODE-TX :	05 47

6. PTTスイッチを押すと、通常画面に戻ります。

- “05 47”と“47 05”のように1番目と2番目のコードの逆の組み合わせは同じコードとして動作します。
- 仲間同士が全員同じコードに設定すると、グループ全員を一斉に呼び出せます。
- 工場出荷時は“05 47”に設定されています。
- ページャー機能を使っているときは、受信すると低い周波数のトーン信号の断続音がわずかに聞こえる場合があります。



## 特定の局を呼び出す

相手局を呼び出すときの“ページャーコード”を設定します。



[F MENU]キーを長押し → [SIGNALING] → [6 ページャー 動作設定]でも設定できます。

1. “ページャー機能を使う”(13ページ)を参照して、ページャー機能を動作させます。
2. [F MENU]キーを押す → [CODE] にタッチ  
[CODE]が表示されていないときは、[FWD→]にタッチして[CODE]を表示させてタッチします。
3. DIALツマミをまわして、“CODE-TX”を選択します。

SIGNALING	
6 ページャー 動作設定	
ANS-BACK:	OFF
CODE-RX :	05 47
▶ CODE-TX :	05 47

4. [F MENU]キーを押すと、カーソル ▶ が1番目のコードに移動します。  
DIALツマミをまわして、1番目のコードを01～50から選択します。

SIGNALING	
6 ページャー 動作設定	
ANS-BACK:	OFF
CODE-RX :	05 47
CODE-TX :	▶05 47

5. [F MENU]キーを押すと、カーソル ▶ が2番目のコードに移動します。
  - DIALツマミをまわして、2番目のコードを01～50から選択します。
  - 1番目のコードと2番目のコードを同じコードに設定することはできません。

SIGNALING	
6 ページャー 動作設定	
ANS-BACK:	OFF
CODE-RX :	05 47
CODE-TX :	05 ▶47

6. PTTスイッチを押すと、通常画面に戻ります。
7. PTTスイッチを押して、相手局を呼び出します。

## 相手局から呼び出し(待ち受け動作)

ページャーを機能させているときに、ページャーコードが一致する相手局から呼び出されると、音声を聞くことができます。PTTスイッチを押すと“PAG”アイコンが点滅して、コードの一致/不一致に関わらず相手局の音声を聞くことができます。信号が無くなって約10秒経つと“PAG”アイコンが点灯に変わり、コードが不一致の信号の音声を聞こえなくなります。さらにベル機能を設定しているときは、呼び出された際にベル音が鳴り“♥”アイコンが点滅して知らせます。

## 自動応答機能(アンサーバック)を使う

コードが一致する相手局から呼び出されたときに、自動的に送信(約2.5秒間)状態になり、交信が可能なことを相手局に知らせることができます。



[F MENU]キーを長押し → [SIGNALING] → [6 ページャー 動作設定]でも設定できます。

1. “ページャー機能を使う”(13ページ)を参照して、ページャー機能を動作させます。
2. [F MENU]キーを押す → [CODE]にタッチ  
[CODE]が表示されていないときは、[FWD→]にタッチして[CODE]を表示させてタッチします。
3. [F MENU]キーを押してから、DIALツマミをまわして、“ON”を選択します。

SIGNALING		
6 ページャー 動作設定		
▶ ANS-BACK :	OFF	
CODE-RX :	05	47
CODE-TX :	05	47

4. PTTスイッチを押すと、通常画面に戻ります。

## 相手からの呼び出しを知らせるベル機能

相手局からの呼び出し(トーンやDCSコード、ページャーコードが一致した信号を受信)があるとベル音で知らせます。また、ディスプレイの“♥”アイコンが点滅して知らせますので、あとからでも相手局から呼ばれたことが確認できます

1. [F MENU]キーを長押し → [SIGNALING] → [1 ベル 設定]にタッチ
2. [F MENU]キーを押します。
3. DIALツマミをまわして、“BELL”を選択します。
4. [BACK]キーを押してから、DIALツマミをまわして、“RINGER”を選択して、[F MENU]キーを押します。
5. DIALツマミをまわして、ベルが鳴る回数を選択します。  
… ⇨ 1回 ⇨ 2回 ⇨ … ⇨ 20回 ⇨ 連続 ⇨ …

SIGNALING		
1 ベル 設定		
▶ SELECT :	OFF	
RINGER :	1 回	



“連続”に設定した場合は、相手局からの呼び出し(トーンやDCSコード、ページャーコードが一致した信号を受信)があると、なにか操作をするまでベルが鳴り続けます。

6. PTTスイッチを押すと通常画面に戻り、ディスプレイに“♥”アイコンが点灯します。

## メモリー機能

### メモリーチャンネルリスト機能

メモリーチャンネルを一覧で表示しますので、各メモリーチャンネルの周波数やメモリータグ、また、スキップメモリーの設定、指定メモリーの設定を確認することができます。また【ENT】にタッチしてメモリーチャンネルを呼び出すことができます。

#### 1. 【F MENU】キーを押す → 【MEMORY】にタッチ

- 【MEMORY】が表示されていないときは、【FWD→】にタッチして【MEMORY】を表示させてタッチします。
- 【V/M.】キーを長押しすると周波数表示とメモリータグ表示が切り替わります。
- 未書込みのメモリーチャンネルは、周波数/メモリータグの表示部に“-----”が表示されます。
- 削除されたメモリーチャンネルはグレーの文字で表示されます。
- スキップメモリーに設定したメモリーチャンネルには“X”アイコン、指定メモリーに設定したメモリーチャンネルには“▶”アイコンが先頭に表示されます。スキップメモリー、指定メモリーについて、詳しくは“スキップメモリー／指定メモリーを設定する”（21ページ）を参照してください。
- 【▶▶】にタッチするとメモリーチャンネルの10の桁が点滅します。DIALツマミをまわすと10チャンネルずつ早送りできます。早送りを解除するにはもう一度【▶▶】にタッチします。

MEMORY CH LIST	
1	145.030.00
▶	2 439.700.00
	3 145.620.00
X	4 432.500.00

▶▶   ENT



2. DIALツマミをまわして、呼び出すメモリーチャンネルを選択します。
3. 【ENT】にタッチすると、選択中のメモリーチャンネルを呼び出して、メモリーモードになります。

### メモリーチャンネルだけを使うメモリーオンリーモード

書き込み済みのメモリーチャンネルだけが表示されるようにして、本機を使用することができます。不用意に周波数を変更したくないような場合に便利です。

#### 1. 【V/M.】キーを押しながら側面の電源スイッチを長押しして、電源をオンにします。

- メモリーオンリーモードになり、最後に使用したメモリーチャンネルが呼び出されます。
- DIALツマミでメモリーチャンネルが選択できます。
- 周波数表示部に長くタッチしてテンキーを表示させて、3桁のメモリーチャンネル番号を入力して【ENT】にタッチすると、メモリーチャンネルを直接、呼び出すことができます。

- メモリーオンリーモードでは、下記の機能以外は動作しません。
  - ・通信モードの切り換え（[MODE]にタッチ）
  - ・AMS機能の送信モード設定（[TX AUTO]または[TX FM]、[TX DN]にタッチ）
  - ・MAGグループの切り替え（[BAND]キーを押す）
  - ・音量調整
  - ・SQLレベル調整（側面の[SQL]キー押し）
  - ・ロック機能（[電源]（On）キー押し）
  - ・ファンクションメニューのMEMORY、DISP、LED LIGHT、SCAN、D.RCV
  - ・グループモニター（GM）機能（[GM/X]キーを長押し）
  - ・WIRES-Xモード（[GM/X]キーを押す）
- メモリーオンリーモード中に[V/M.]キーを押すとビープ音が鳴り、ディスプレイに“M-ONLY”と表示されVFOモードに切り替えることはできません。



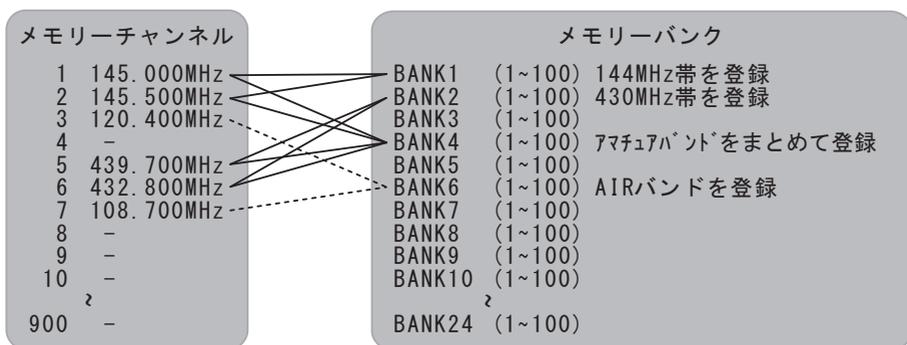
## メモリーオンリーモードを解除する

1. 電源をオフにしてから、もう一度、[V/M.]キーを押しながら電源スイッチを長押しして、電源をオンにします。

## メモリーバンクを使う

メモリーチャンネルを自由に登録することができる24個のメモリーバンクがあります。1つのメモリーチャンネルを複数のメモリーバンクに登録することもできますので、用途にあわせてメモリーチャンネルを分類して登録できます。メモリーバンクに登録したメモリーチャンネルは、各メモリーバンクごとに呼び出すことができます。

### メモリーバンクへの登録例



## メモリーバンクに登録する

1. [V/M.]キーを押して、メモリーモードに切り替えます。
2. DIALツマミをまわして、メモリーバンクに登録するメモリーチャンネルを呼び出します。



- [V/M.]キーを長押しします。  
メモリーチャンネル番号が点滅します。
- DIALツマミをまわして、登録するメモリーバンク番号 BANK 1～ BANK24を選択します。  
メモリーバンク番号(BANK 1～ BANK24)は、メモリーチャンネル(1CH)とPMSメモリー(U50)の間に表示されます。



メモリー種別	メモリーチャンネル表示
通常メモリー (900ch)	1 ～ 900
スキップサーチメモリー (99ch)	901 ～ 999
PMSメモリー (50組)	L1 ～ U50
メモリーバンク (24バンク)	BANK 1 ～ BANK24

- [V/M.]キーを押します。  
メモリーチャンネルが選択したメモリーバンクに登録され、メモリーモードに戻ります。

### メモリーバンク表示に切り替える

- [V/M.]キーを押して、メモリーモードに切り替えます。

- [F MENU]キーを押す → **[BANK]** にタッチ  
**[BANK]**が表示されていないときは、**[BACK←]**にタッチして**[BANK]**を表示させてタッチします。

B 1 ～ B24：メモリーバンク番号\*

※:バンクリンクに設定中のバンクは先頭が小文字のbで表示されます。



メモリーバンクに1件もメモリーチャンネルが登録されていない場合に上記の操作を行うと、ピープ音が鳴って“NO BANK”と表示され、メモリーバンク表示に切り替えることができません。

### ●メモリーバンク表示をやめる

- [F MENU]キーを押す → **[MR]** にタッチ  
**[MR]**が表示されていないときは、**[BACK←]**にタッチして**[MR]**を表示させてタッチします。

### メモリーバンクの選択

- メモリーバンク表示中に**[BAND]**キーを押します。
- DIALツマミをまわして、呼び出したいメモリーバンクをBANK 1～BANK24から選択します。



メモリーチャンネルが1件も登録されていないメモリーバンクは選択できません。

- [BAND]**キーを押すか、またはPTTスイッチを押します。  
選択したメモリーバンクが表示されます。

## メモリーバンクへの登録を解除する

1. 登録を解除するメモリーチャンネルが登録されているメモリーバンクを呼び出します。
2. [V/M.]キーを長押しします。
3. DIALツマミをまわして、登録を解除するメモリーチャンネルを選択します。
4. [ ]にタッチしてから、[M.DEL]にタッチします。

## メモリーバンクに名前をつける

メモリーバンクには、最大16文字(半角)/最大8文字(全角)のタグ(名前)をつけることができます。以下の文字を入力できます。

- 英字 (大文字全角/半角、小文字全角/半角)
- 数字 (全角/半角)
- 記号
- ひらがな (全角/半角、濁点/半濁点)
- カタカナ (全角/半角、濁点/半濁点)
- 漢字 (約3200文字)

1. [F MENU]キーを長押し → [MEMORY]にタッチ → [2 バンクネーム 設定]にタッチ
2. タグを編集するバンクにタッチします。
  - 文字入力画面が表示されますので、DIALツマミまたはタッチパネルを使って文字を入力します。
  - [→]にタッチするとカーソルが右に移動します。
  - 文字入力の方法について、詳しくは“文字入力画面の操作”(取扱説明書<基本編>)を参照してください
3. PTTスイッチを押すと設定が保存され、元の画面に戻ります。



各メモリーバンクには工場出荷時設定で“BANK 1”～“BANK24”の名前が設定されています。

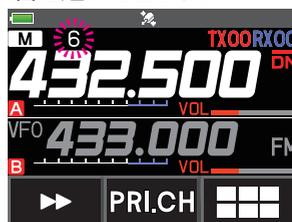


## スプリットメモリー

1つのメモリーチャンネルに、受信周波数と送信周波数を個別に書き込みできます。

1. あらかじめ周波数や通信モード、送信出力などを設定して“**受信周波数**”をメモリーに保存します。

メモリーの書き込みについて詳しくは、“**メモリーに書き込む**” (取扱説明書<基本編>)を参照してください。

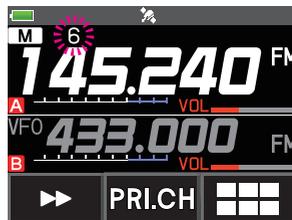


受信周波数を書き込み

2. VFOモードで書き込む“**送信周波数**”を設定します。
3. [V/M.]キーを長押しします。
4. DIALツマミをまわして、手順1で“**受信周波数**”を書き込んだメモリーチャンネル番号を選択します。

PTTスイッチを押しながら、[V/M.]キーを押します。

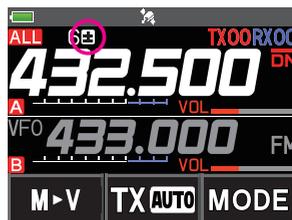
- ビープ音が鳴ってスプリットメモリーが保存されます。



送信周波数を書き込み

- スプリットメモリーの呼び出し中は、ディスプレイに“**6**”アイコンが表示されます。

- 通信モードや送信出力などは、書き込んだ受信周波数の設定で動作します。
- スプリットメモリーの呼び出し中に、[F MENU]を押し → [REV]にタッチすると、一時的に送信と受信周波数を入れ替える(リバース状態)ことができます。リバース中は“**6**”アイコンが点滅します。



スプリットメモリー呼び出し中

## スキップメモリー／指定メモリーを設定する

メモリーチャンネルに“スキップメモリー”または“指定メモリー”を設定できます。“スキップメモリー”に設定したメモリーチャンネルはメモリースキャン時にスキップします。また、“指定メモリー”に設定したメモリーチャンネルだけをメモリースキャンすることができます。

1. 指定したいメモリーチャンネルを呼び出します。
2. [F MENU]キーを長押し → [MEMORY] → [5 メモリー スキップ]にタッチ
3. DIALツマミをまわして設定を選択します。

… → OFF → SKIP X → SELECT ▶ → …

- **SKIP:** スキップメモリー

メモリーチャンネル番号の右側に“X”アイコンが表示されて、メモリースキャン時にはスキップされます。

- **SELECT:** 指定メモリー

メモリーチャンネル番号の右側に“▶”アイコンが表示されます。指定メモリーを呼び出してから、スキャンを開始するとすべての指定メモリーのみをメモリースキャンします。

- **OFF:** 通常メモリー

“X”アイコン、“▶”アイコンが表示されません。

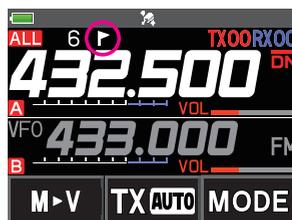
4. PTTスイッチを押して設定を保存して、通常画面に戻ります。

### ● 指定メモリーで設定したメモリーチャンネルだけをスキャンする

1. 指定メモリーに設定したメモリーチャンネルを呼び出します。
2. [F MENU]キーを押す → [SCAN] にタッチ
  - [SCAN]が表示されていないときは、[BACK←]にタッチして[SCAN]を表示させてタッチします。
  - 指定メモリーチャンネルだけをメモリースキャンします。



スキップメモリー



指定メモリー



指定メモリーは2つ以上設定されていないと、指定メモリースキャンはできません。

## スキャンしたくない周波数をスキップする(スキップサーチメモリー)

VFOスキャン中に受信したくない周波数をスキップサーチメモリーにメモリー(最大99チャンネル)すると、VFOスキャン中にスキップします。以下の2つの設定方法があります。

### ● スキャンの一時停止中に現在の周波数をスキップサーチメモリーに設定する

1. VFOスキャン中の一時停止中に、[V/M.]キーを長押しします。
2. DIALツマミをまわして、スキップサーチメモリーチャンネル(901～999)を選択します。  
スキップサーチメモリーチャンネル(901～999)だけが選択できます。
3. [V/M.]キーを押します。  
ビーブ音が鳴りスキップサーチメモリーに保存して、スキャンを再開します。

### ● あらかじめスキャンしたくない周波数をスキップサーチメモリーに設定する

1. VFOモードでスキャンしたくない周波数に設定します。
2. “メモリーに書き込む”(取扱説明書<基本編>参照)と同じ手順で、スキップサーチメモリーチャンネル(901～999)に書き込みます。



“メモリーを消去する”(取扱説明書<基本編>参照)の手順でスキップサーチメモリーを消去できます。消去した周波数は、再びVFOスキャンでスキャンされるようになります。

## プログラマブルメモリスキャン(PMS)

### プログラマブルメモリーに書き込む

PMSメモリーチャンネルには、上下限周波数を50組(L1/U1～L50/U50)まで書き込みできます。

- スキャンする周波数範囲の上限と下限の周波数をそれぞれメモリーします。  
L□□: 下限周波数  
U□□: 上限周波数
- メモリーの方法については、“メモリーに書き込む” (取扱説明書<基本編>)を参照してください。
- メモリーバンク番号はメモリーチャンネル(1CH)とPMSメモリー(U50)の間に表示されます。

メモリー種別	メモリーチャンネル表示
通常メモリー (900ch)	1 ~ 900
スキップサーチメモリー (99ch)	901 ~ 999
<b>PMSメモリー (50組)</b>	<b>L1 ~ U50</b>
メモリーバンク (24バンク)	BANK 1 ~ BANK24

- 上下限周波数は、L1/U1やL2/U2など、同じ番号の組み合わせでメモリーしてください。
- プログラマブルメモリスキャンをするには、下記のようにPMSメモリーを設定してください。
  - 上下限周波数は100kHz以上離れた周波数にしてください
  - 上下限周波数は同じ周波数帯になるようにしてください
  - 上下限周波数を逆にメモリーしないでください
  - PMSメモリーをスキップメモリーに設定しないでください



### プログラマブルメモリスキャンをする

PMSメモリーで指定した上下限周波数の範囲をスキャンします。

1. 下限(L□□)または上限周波数(U□□)のPMSメモリーチャンネルを呼び出します。
2. [F MENU]キーを押す → **[SCAN]** にタッチ
  - **[SCAN]**が表示されていないときは、**[BACK←]**にタッチして**[SCAN]**を表示させてタッチします。
  - プログラマブルメモリスキャンが開始されます。
  - PMS中は、ディスプレイに“PMS SCAN”と表示されます。
  - スキャン中にDIALツマミをまわすと、スキャンする方向を変更することができます。

信号を受信するとスキャンが一時停止して、バックライトが点灯しディスプレイの小数点が点滅します。約5秒後に再びスキャンを開始します。
3. **[STOP]**にタッチするか、またはPTTスイッチを押すと、PMSスキャンを中止します。  
この状態(ディスプレイ左上部に“PMSP□□”と表示)では、DIALツマミをまわして周波数を変更できるのはPMSメモリーした上下限周波数の範囲だけになります。

### ● プログラマブルメモリスキャンを終了する

1. [V/M.]キーを押します。  
元のメモリーチャンネルを表示します。

## メモリーバンクスキャン

---

現在、呼び出しているメモリーバンクにメモリーされているメモリーチャンネルだけをスキャンします。

1. “メモリーバンク表示に切り替える”(18ページ)および“メモリーバンクの選択”(18ページ)を参照して、スキャンしたいメモリーバンクを呼び出します。
2. [F MENU]キーを押す → [SCAN] にタッチ  
[SCAN]が表示されていないときは、[BACK←]にタッチして[SCAN]を表示させてタッチします。  
メモリーバンクスキャンがスタートします。

## メモリーバンクリンクスキャン

---

あらかじめバンクリンク設定されている複数のメモリーバンクにメモリーされている、全てのメモリーチャンネルをスキャンします。

### バンクリンクを設定する

---

1. [F MENU]キーを長押し → [MEMORY] → [1 バンクリンク 設定]にタッチ
2. DIALツマミを回して、バンクリンクするメモリーバンクを選択します。
3. [F MENU]キーを押して、チェックマークを付けます。
4. 手順2と3を繰り返し、バンクリンクする全てのメモリーバンクにチェックマークを付けます。
5. PTTスイッチを押して通常画面に戻ります。

### バンクリンクスキャンをする

---

1. “メモリーバンク表示に切り替える”(18ページ)および“メモリーバンクの選択”(18ページ)を参照して、バンクリンクに設定したメモリーバンクのいずれかを呼び出します。  
バンクリンクに設定されているメモリーバンクの先頭の文字は、“b”で表示されます。
2. [F MENU]キーを押す → [SCAN] にタッチ  
[SCAN]が表示されていないときは、[BACK←]にタッチして[SCAN]を表示させてタッチします。  
バンクリンクスキャンがスタートします。

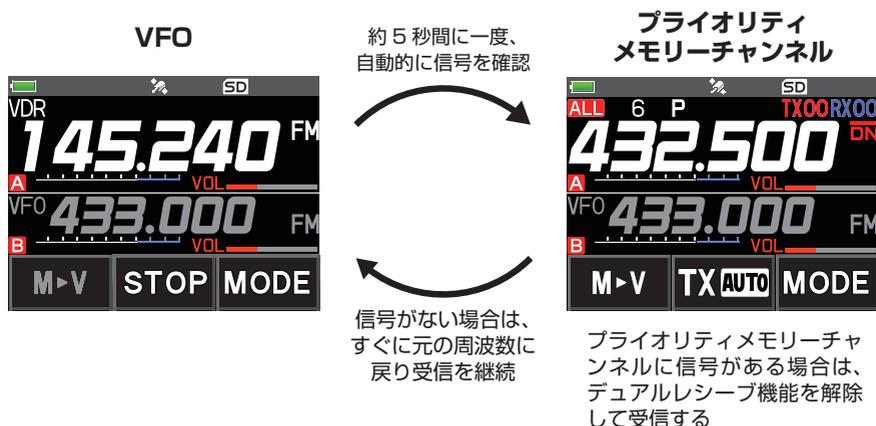
## デュアルレシーブ(D.RCV)機能

デュアルレシーブ機能は、現在の受信周波数(VFOまたはメモリーチャンネル、HOMEチャンネル)を受信しながら、自動で約5秒間に一度、プライオリティメモリーチャンネルに設定したメモリーチャンネルの信号の有無を確認します。プライオリティメモリーチャンネル(工場出荷時設定はメモリーチャンネル“1”)で信号を受信するとデュアルレシーブ機能を解除して、その信号を受信することができます。

本機には、以下の3種類のデュアルレシーブ機能があります。

- VFOデュアルレシーブ
- メモリーチャンネルデュアルレシーブ
- HOMEチャンネルデュアルレシーブ

例:VFO(145.240MHz)とプライオリティメモリーチャンネル“6”(432.500MHz)をデュアルレシーブ

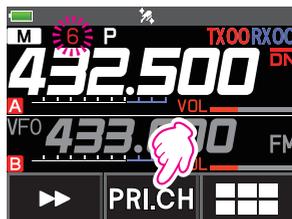


### プライオリティメモリーチャンネルを設定する

1. “メモリーに書き込む”(取扱説明書<基本編>)を参照して、優先的に受信したい周波数や通信モードなどをプライオリティチャンネルに設定するメモリーチャンネルに保存します。
2. [V/M.]キーを押してメモリーモードに切り替えます。
3. [V/M.]キーを長押ししてから、DIALツマミをまわして、プライオリティメモリーチャンネルに指定するメモリーチャンネルを呼び出します。



- 書き込み済で消去していないメモリーチャンネルだけがプライオリティチャンネルに設定できます。
- 工場出荷時設定では、メモリーチャンネル1がプライオリティチャンネルになっています。



4. [PRI.CH]にタッチします。
  - プライオリティメモリーチャンネル設定が保存され、最初に呼び出していたメモリーチャンネルに戻ります。
  - プライオリティメモリーチャンネルを呼び出すと、メモリーチャンネル番号の右側に“P”アイコンが表示されます。

## デュアルレシーブ(D.RCV)機能を使う

1. 常時受信する周波数や通信モードを設定します。

常時受信する周波数はVFO以外に、メモリーチャンネル、HOMEチャンネルにすることができます。

**VFOデュアルレシーブ**                      VFO ⇄ プライオリティメモリーチャンネル

**メモリーデュアルレシーブ**              メモリーチャンネル ⇄ プライオリティメモリーチャンネル

**HOMEチャンネルデュアルレシーブ**   HOMEチャンネル ⇄ プライオリティメモリーチャンネル

2. [F MENU]キーを押す → [D.RCV]にタッチ

表示例: VFOデュアルレシーブ

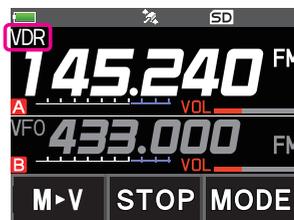
- [D.RCV]が表示されていないときは、[BACK←]にタッチして[D.RCV]を表示させてタッチします。

- デュアルレシーブ機能が動作して、ディスプレイ左上に以下のように表示されます。

VFOデュアルレシーブ:              VDR

メモリーCHデュアルレシーブ:   MDR(/DXX/dXX)※

HOME CHデュアルレシーブ:      HDR



※: メモリーバンクの場合はDXX、バンクリンクに設定しているメモリーバンクの場合はdXX(XXはバンク番号)と表示されます。

- プライオリティチャンネルで信号を受信したときは、ビーブ音が鳴り、デュアルレシーブ機能を解除してプライオリティメモリーチャンネルを受信し続けます。



常時受信する周波数とプライオリティメモリーチャンネルの周波数帯や通信モードは、自由に組み合わせることができます。

## デュアルレシーブ停止時の動作を設定する

1. [F MENU]キーを長押し → [SCAN]にタッチ → [4 SCAN RESUM]にタッチ

2. DIALツマミをまわして、“DW”を選択します。

3. [F MENU]キーを押して、DIALツマミをまわして、信号を受信してデュアルレシーブが停止したときの動作を選択します。

### • 2.0 秒～10.0 秒

設定した時間の間だけ一時停止して信号を受信し、その後は信号があってもデュアルレシーブを再開します。

デュアルレシーブを再開する時間は2秒～10秒の間で、0.5秒単位で設定できます。

### • BUSY

信号が無くなるまで受信し、信号が無くなると約2秒後にデュアルレシーブを再開します。

### • HOLD

デュアルレシーブを中止し、その周波数を受信し続けます。(デュアルレシーブは再開しません。)

工場出荷時設定は“HOLD”です。

4. PTTスイッチを押すと設定を保存して、通常画面に戻ります。



[F MENU]キーを長押し → [SCAN] → [6 プライオリティ リポート]で“ON”に設定した時は、デュアルレシーブ中にPTTスイッチを押すと、常にプライオリティチャンネルで送信して、受信に戻るとプライオリティチャンネルを受信して、“SCAN RESUME”のDW設定に従ってデュアルレシーブを再開します。

## GPSとは?

GPS(Global Positioning System)は全地球測位システムとも言われ、地球上の現在位置を調べるための人工衛星による測位システムです。アメリカ国防省が開発した軍事用のシステムで、高度約20000kmにある約30個のGPS衛星のうち、上空の3個以上の衛星から信号を受け取り、数mの誤差で現在の位置情報(緯度・経度・高度など)が表示できます。また、GPS衛星に搭載された原子時計から正確な時刻が受信できます。

## GPS機能を動作させる

GPS機能を“ON”に設定して、GPS信号を測位すると、本機の内部時計や位置情報が自動的に設定されますので、スマナビ機能やGM機能、APRS機能など各種の機能で利用できます。



- 工場出荷時設定はGPS機能は“ON”です。
- GPS機能を使用すると、消費電流が約15mA増加します。このため、バッテリーの持ち時間がGPS機能をOFFにしているときと比較してやや短くなります。

1. [F MENU]キーを長押し → [APRS] → [20 GPS電源]にタッチ
2. DIALツマミを回して、“GPS ON”に設定します。
3. PTTスイッチを押すと設定が保存され、通常画面に戻ります。

## デジタルモードで相手局の位置情報を表示させる

C4FMデジタルのV/Dモードでは、音声と同時にGPSの位置情報を送信していますので、通信中にリアルタイムで相手局の位置と方向を表示できます。

詳細は、“リアルタイムナビゲーション機能”(30ページ)を参照してください。



- 自局がGPS機能を“OFF”にしている場合、V/Dモードでは相手局の位置情報を表示できません。
- GPS機能が動作していないときは、相手局に自分の位置情報を表示させることはできません。

### GPS測位について

測位とは、衛星の軌道情報と電波の伝播時間のデータから自分の位置を計算することをいいます。測位するには衛星が3個以上捕捉されている必要があります。測位ができない場合は、なるべく建物から離れ障害物の少ない天空の開けた場所に移動してください。

#### ● 誤差について

測位する周辺の環境により数百mの誤差が生じることがあります。測位する条件によっては最少で3個の衛星でも測位できますが、下記の条件で精度が悪くなったり測位できなくなったりすることがあります。

- ・高層ビルの間
- ・建物の間の狭い道路
- ・室内やビルの陰
- ・高圧線の下や高架の下
- ・森や林など樹木の間
- ・トンネルの中や地下
- ・熱線反射ガラス越しでの使用
- ・強い磁気を発生する場所

#### ● 長期間使用していなかった場合

本機をお買い上げ後、はじめてGPS機能を使用する場合や、長期間使用していなかった場合、衛星をサーチするため、測位時間が数分かかります。また、一度電源を切り、数時間後に再び使用する場合も、衛星をサーチするため、測位時間が数分かかります。

## GPS情報を記録する(GPSログ機能)

自局のGPS位置情報を、定期的にmicroSDメモ리카ードに保存できます。保存したデータを使用すると、市販の地図ソフト<sup>\*</sup>などで軌跡を表示できます。

※地図ソフトおよび、使用方法はサポートしていません。

1. “GPS機能を動作させる”(27ページ)を参照して、GPS機能を“ON”にします。
2. [F MENU]キーを長押し → 【CONFIG】 → 【7 GPS ログインターバル】にタッチ
3. DIALツマミを回して、GPS位置情報を記録する間隔を選択します。  
OFF / 1秒 / 2秒 / 5秒 / 10秒 / 30秒 / 60秒
4. PTTスイッチを押すと設定が保存され、通常画面に戻ります。

GPSログアイコン“LOG”が表示されて、GPSログ機能が動作します。



- 上記の手順3で“OFF”を選択するか、または本機の電源を切るまで位置情報が記録されます。
- もう一度、上記の手順3でGPSログを記録する間隔を選択したときや、本機の電源を入れ直すと、別名のファイルで新たにGPSログの記録が開始されます。

## パソコンで移動軌跡を確認する

1. 本機の電源をオフにします。
2. microSDメモ리카ードを抜き取ります。
3. 市販のメモ리카ードリーダーなどを使用して、microSDメモ리카ードをパソコンに接続します。
4. microSDメモ리카ード内の“FT5D”フォルダーを開きます。
5. “GPSLOG”フォルダーを開きます。
  - データは「GPSyymmddhhmmss.log」の名称で保存されています。
  - 「yymmddhhmmss」部分は、記録を開始した時の年(yy)、月(mm)、日(dd)、時(hh)、分(mm)、秒(ss)を表しています。



- 市販の地図ソフトにデータをインポートすると、地図上に軌跡を表示できます。
- インポート方法は、お使いになる地図ソフトの取扱説明書をご覧ください。

## GPSインフォメーション画面

GPS衛星からの信号の受信状態や、現在地の緯度経度などが確認できます。

### 1. [F MENU]キーを押す → [DISP]にタッチ

- [DISP]が表示されていないときは、[FWD→]にタッチして[DISP]を表示させてタッチします。
- ナビゲーション画面が表示された場合は、コンパス表示部にタッチして、GPSインフォメーション画面に切り替えます。



- ① 衛星の方位と仰角が表示されます。常に「北」が上に表示されます。
- ② 時刻(12時間制表示)と月日が表示されます。
- ③ 自局の移動速度が表示されます。
- ④ 衛星の番号と受信レベルが表示されます。
- ⑤ 現在位置のGPS位置情報(緯度経度)が表示されます。
  - 緯度(上段)  
表示形式は次のとおりです。  
X DD°MM.MMM  
X:N:北緯, S:南緯, DD:Degree (角度)、MM.MMM:Minute (分)  
例:N 35°38.250 (北緯35度38分15秒)
  - 経度(下段)  
表示形式は次のとおりです。  
X DDD°MM.MMM  
X:E:東経, W:西経, DDD:Degree (角度)、MM.MMM:Minute (分)  
例:E 139°42.500 (東経139度42分30秒)
- ⑥ 現在の位置の高度が「ALTI xxxxm」と表示されます。  
例:ALTI 36m (高度36メートル)

### 2. [F MENU]キーまたは[BACK]キーを押すと通常画面に戻ります。

- [F MENU]キー長押し → [APRS]にタッチ → [22 GPS 単位]にタッチして、GPSデータの単位が変更できます。
- GPS機能を使用することで、GPSから時刻データ(日付、時間)を取得し、24時間表示で正確な時刻が表示されます。また、この時刻データは本機の時刻データやAPRS機能の時刻データとして使用できます。
- [F MENU]キー長押し → [APRS]にタッチ → [19 GPS 測地設定]にタッチして、内蔵GPSユニットの測地系が変更できます。ただし、APRSはWGS-84の測地系を使用するため、変更しないことをお勧めします。
- [F MENU]キー長押し → [APRS]にタッチ → [28 タイムゾーン]にタッチして、タイムゾーンを30分単位で設定できます。(工場出荷時: UTC+9:00 日本のタイムゾーン)
- [F MENU]キーを長押し → [APRS]にタッチ → [17 COM ポート 設定]にタッチして、「INPUT」を「GPS」にセットすると、外部GPS機器から位置情報が取得できます。この場合、内蔵GPSのデータは使用しません。
- 外部GPS機器を使用する場合は、本機と外部GPS機器をなるべく離して運用してください。



## スマナビ(スマートナビゲーション)機能

スマナビ機能には、次の二つのナビゲーション方法があります。

- ・リアルタイムナビゲーション機能
- ・バックトラック機能



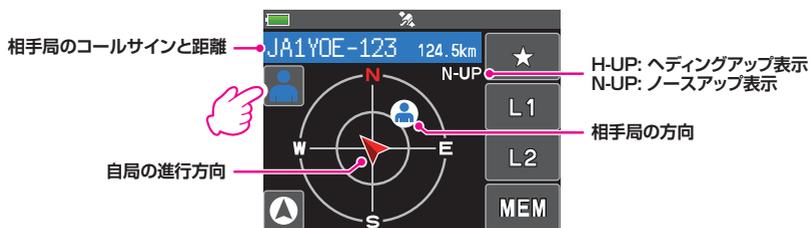
スマナビ機能を使用する場合は、[F MENU]キー長押し → [DISPLAY]にタッチ → [1 位置情報表示]にタッチして、“COMPASS”に設定してください。(工場出荷時設定は“COMPASS”です。)

### リアルタイムナビゲーション機能

C4FMデジタルのV/Dモードでは、音声信号と同時にGPSの位置情報を通信していますので、音声による通信をおこなっている間に、リアルタイムで相手局の位置と方向を表示することができます。

1. [F MENU]キーを押す → [DISP]にタッチ
  - ・ [DISP]が表示されていないときは、[FWD→]にタッチして [DISP] を表示させてタッチします。
  - ・ GPSインフォメーション画面が表示された場合は、コンパス表示部にタッチして、ナビゲーション画面に切り替えます。
2. 【】にタッチして相手局の位置情報表示に切り替えます。

同じ周波数でC4FMデジタルのDN(V/D)モードで運用している局のGPS位置情報を含む信号を受信すると、自局からの距離と方向を表示します。



3. [F MENU]キーまたは[BACK]キーを押すと通常画面に戻ります。

### バックトラック機能

あらかじめ現在地(出発地点)を登録しておくことにより、移動した時にリアルタイムで現在地から出発地点の方向と距離を表示しますので、その方向に進むようにすると、出発地点に戻ることができます。

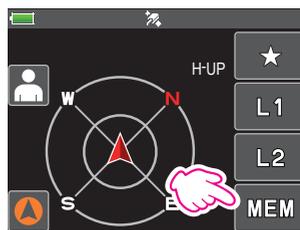
#### ●現在地(出発地点)を登録する(最大3地点まで登録が可能です)

1. [F MENU]キーを押す → [DISP]にタッチ
  - ・ [DISP]が表示されていないときは、[FWD→]にタッチして [DISP] を表示させてタッチします。
  - ・ GPSインフォメーション画面が表示された場合は、コンパス表示部にタッチして、ナビゲーション画面に切り替えます。
2. 【】にタッチして自局の位置情報表示に切り替えます。

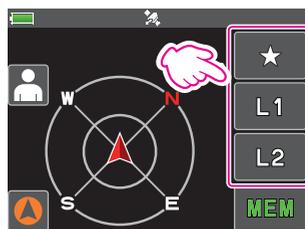


【】にタッチして相手局の位置情報表示になっているときに、登録操作を行うと相手局のコールサインと現在地を登録することができます。

3. [MEM]にタッチします。  
 “★”、“L1”、“L2”マークが点滅します。



4. 現在地の位置情報を登録する“★”、“L1”、“L2”マークにタッチします。  
 選択したマークに位置情報が登録されます。
5. [F MENU]キーまたは[BACK]キーを押すと、通常画面に戻ります。

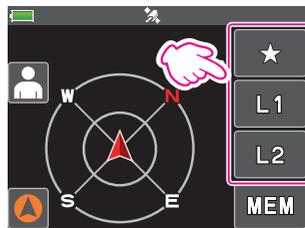


### ● バックトラック機能を使う

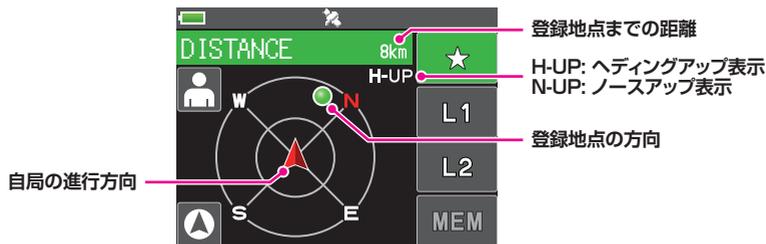
1. [F MENU]キーを押す → [DISP]にタッチ
- [DISP]が表示されていないときは、[FWD→]にタッチして[DISP]を表示させてタッチします。
  - GPSインフォメーション画面が表示された場合は、コンパス表示部にタッチして、ナビゲーション画面に切り替えます。
2. バックトラックする登録地点のマーク【★】、【L1】、【L2】にタッチします。

サークル内の緑色の点が、登録地点(出発地点)の方向を示していますので、緑の点が常に上になるよう、進むと出発地点に戻ることができます。(“ヘディングアップ表示”の場合)

3. [F MENU]キーまたは[BACK]キーを押すと、通常画面に戻ります。



### ● バックトラック画面の説明



## AF DUAL機能

AF DUAL受信機能では、ラジオ放送を受信中に、AバンドとBバンドの周波数(またはメモリーチャンネル)を同時に待ち受け受信ができます。AバンドまたはBバンドで信号を受信した場合はラジオ受信を中断し、受信したバンドの音声が届きます。

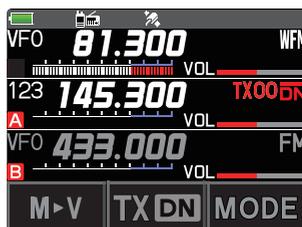
同じような機能にデュアルレシーブ機能がありますが、デュアルレシーブ機能の場合、約5秒に一度、プライオリティメモリーチャンネルの信号を確認するために、ラジオ受信が短時間途切れますが、AF-DUAL受信機能では、相手局からの信号を受信していないときはラジオ受信が途切れず、快適に放送を楽しむことができます。



待ち受け受信をしているAバンドまたはBバンドでスキャンまたはデュアルレシーブをしながらAF DUAL受信をすることもできます。

### 1. [F MENU]キーを押す → [A.DUAL]にタッチ

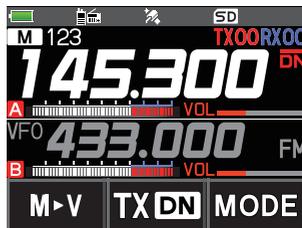
- [A.DUAL]が表示されていないときは、[BACK←]にタッチして[A.DUAL]を表示させてタッチします。
- AF DUAL “音源”アイコンが表示され、AF DUAL機能が動作します。
- [BAND]キーを押すたびにAM放送帯とFM放送帯が切り替わります。他のバンドに切り替えることはできません。



### 2. DIALツマミをまわして、ラジオ放送帯の周波数を選択します。

- AバンドまたはBバンドで信号を受信すると、ラジオ受信を中断して、デュアルバンド表示に切り替わり、信号を聞くことができます。
- AバンドまたはBバンドで信号を受信した時や、[A/B]キーを押して、AバンドまたはBバンドが操作バンドになっているときは、それぞれのバンドの操作ができます。
- PTTスイッチを押すと、ラジオ受信を中断して、デュアルバンド表示に切り替わり、操作バンドで送信します。

例:Aバンドで信号を受信した場合



- メモリーチャンネルまたはメモリーバンクにメモリーしたAM放送帯またはFM放送帯の周波数も、AF DUAL機能を使用中に呼び出すことができます。
- ラジオを受信中に側面の[BACK]スイッチを押すと、待ち受け受信側の周波数が受信できます。
- AF DUAL機能ではAバンドまたはBバンドでAM放送(中波)とFM放送の周波数を同時に待ち受け受信できません。

### ● AF DUAL機能を終了する

1. [BACK]キーを押すか、または[F MENU]キーを押す → [A.DUAL]にタッチします。

## ラジオ受信の再開動作の設定

AバンドまたはBバンドで信号を受信してラジオ受信を中断した時の、動作を設定します。

1. [F MENU]キーを長押し → [TX/RX]にタッチ → [3 オーディオ]にタッチ
2. [3 RX AF DUAL]にタッチ
3. DIALツマミをまわして設定を選択します。工場出荷時設定は“**送受信 2秒**”です。

### • 送受信 1秒～送受信10秒

“AバンドまたはBバンドの受信信号が無くなってから”または“送信を止めてから”、ラジオ受信を再開する時間を設定します。

### • 固定

AバンドまたはBバンドの信号を受信したとき、または、PTTスイッチを押して送信したときは、AF-DUAL受信を解除して、元のデュアルレシーブ画面に戻ります。(AF-DUAL受信は再開しません。)

### • 送信 1秒～送信10秒

PTTスイッチを押して、操作バンド(AバンドまたはBバンド)で送信したときに、送信を止めてから、ラジオ受信を再開する時間を設定します。ラジオ受信を再開する前に信号を受信した時は、信号が無くなってから設定した時間の経過後にラジオ受信を再開します。AF-DUAL受信中にAバンドまたはBバンドの信号を受信したときは、AF-DUAL受信を解除して、元のデュアルレシーブ画面に戻ります。(AF-DUAL受信は再開しません。)

4. PTTスイッチを押すと設定を保存して、通常画面に戻ります。

## DTMF機能

DTMF (Dual Tone Multi Frequency)は、プッシュホーン回線の電話をかけたときに受話器から聞こえる“ピップポップ”音のことです。アナログFMモードでWIRES-Xのノード局に接続するときやフォンパッチで公衆回線に接続するとき使用する電話番号などのDTMFコードを最大16桁、10件まで登録しておいて、簡単に送出することができます。

## DTMFメモリーを登録する

1. [F MENU]キーを長押し → [SIGNALING] → [5 DTMF メモリー 設定]にタッチ
2. 登録するDTMFメモリー番号(1～10)にタッチします。  
DTMFメモリー入力画面が表示されます。
3. テンキーまたはDIALツマミを使って、最大16桁のDTMFコードを入力します。  
DIALツマミ操作  
… ⇄ 0～9 ⇄ A～D ⇄ \* ⇄ # ⇄ - ⇄ …
4. PTTスイッチを押すと設定が保存され、通常画面に戻ります。

## DTMFコードの送出方法を変更する

1. [F MENU]キーを長押し → [SIGNALING]にタッチ → [4 DTMF 動作設定]にタッチ
2. DIALツマミをまわして、“MODE”を選択します。
3. [F MENU]キーを押してから、DIALツマミをまわして設定を選択します。  
**AUTO** ☎: DTMFメモリー1～10に登録したDTMFコードを自動で送出します。  
**MANUAL**: テンキーを押して1桁ずつDTMFコードを送出します。
4. PTTスイッチを押すと設定が保存され、通常画面に戻ります。  
“**AUTO** ☎”に設定したときは、ディスプレイにDTMFアイコン“☎”が表示されます。

## DTMFメモリーを使ってDTMFコードを自動で送出する

1. 前項の“DTMFコードの送出方法を変更する”を参照して、“AUTO 冫”に設定します。
2. PTTスイッチを押しながら、[DTMF]にタッチします。
3. テンキーの[0]～[9]キーを押します。
  - DTMFメモリーに登録したDTMFコードが自動で送出されます。
  - DTMFコードの送出中はPTTスイッチを放しても、送信を続けます。

## 手動でDTMFコードを送出する

1. “DTMFコードの送出方法を変更する”(33ページ)を参照して、“MANUAL”に設定します。
2. PTTスイッチを押しながら、[DTMF]にタッチします。
  - 画面にタッチしてDTMFコードを送出します。
  - PTTスイッチを放しても、画面にタッチを止めてから約1秒間は送信を続けます。

## JRの空線信号音を消す(空線スケルチ機能)

通話をしていないときに聴こえる「ピー」という空線信号音(2280Hz)を消します。

1. [F MENU]キーを押す → [SQ TYP] にタッチ
2. DIALツマミをまわして、“JR FREQ”を選択します。
3. PTTスイッチを押すと、通常画面に戻ります。

## JR以外の空線信号音を消す(可変型空線スケルチ機能)

通話をしていないときに聴こえる「ピー」という空線信号音を消します。空線スケルチ周波数を300Hz ~ 3000Hzから100Hzステップで設定できます。



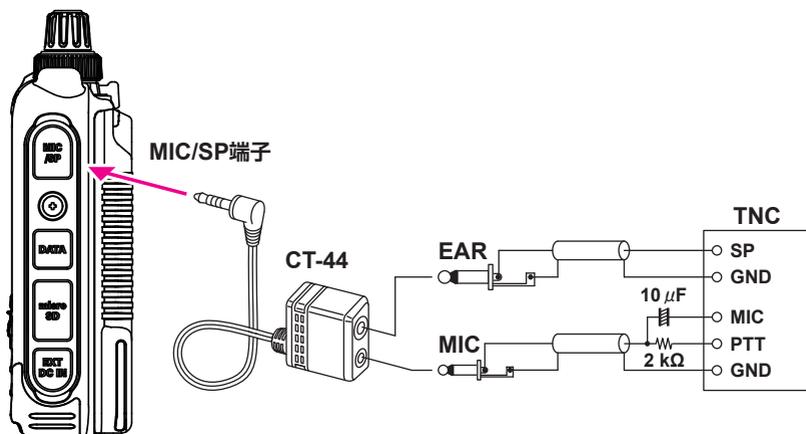
[F MENU]キーを長押し → [SIGNALING] → [7 私鉄空線周波数]でも設定できます。

1. [F MENU]キーを押す → [SQ TYP] にタッチ
2. DIALツマミをまわして、“PR FREQ”を選択します。
3. PTTスイッチを押すと、通常画面に戻ります。
4. [F MENU]キーを押す → [CODE] にタッチ  
私鉄空線周波数の設定画面が表示されます。
5. DIALツマミをまわして、空線周波数を選択します。  
300Hz ~ 3000Hz(100Hzステップ)
6. PTTスイッチを押すと設定が保存され、通常画面に戻ります。



## パケット通信

オプションのマイクアダプター(CT-44)を使用すると、市販のTNC(ターミナルノードコントローラー)を接続してパケット通信ができます。



接続後、本機の音量を調節して、TNCへの出力レベルを設定してください。

また、TNC側の出力レベル調節用ボリュームでTNCから本機への入力レベルを調節してください(本機側では、入力レベルの調節できません)。



大量のデータを転送するときには送信時間が長くなり、本機が発熱し熱くなります。

長時間送信し続けると、過熱防止回路が作動して送信出力が下がります。さらに送信を続けると、過熱による故障を防ぐために、自動的に送信が中止され、受信状態になります。

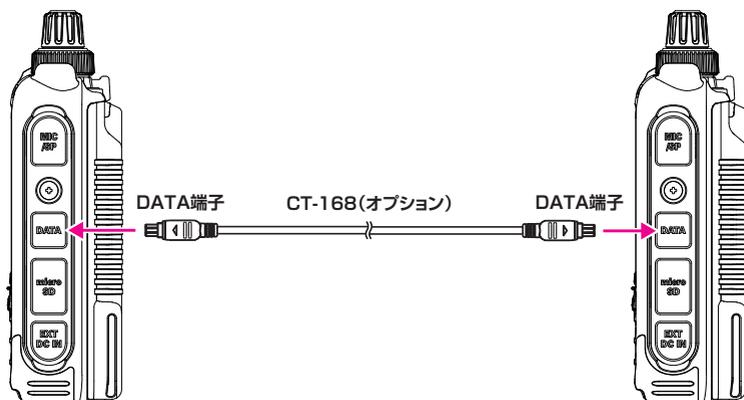
過熱防止回路が作動して受信状態になったときには、電源を切るか、受信状態のまま、温度が下がるまでお待ちください。



- パケット通信を行う時には、[F MENU]キー長押し → [CONFIG]にタッチ → [17 受信 セーブ 設定]にタッチして、“OFF”に設定してください。(工場出荷時設定は“0.05秒(1:1)”です。)
- パソコンで発生する雑音によって、受信が妨害される場合があります。正常に受信できない場合は、パソコンを本機から離し、フォトブラーやノイズフィルターを使って接続してください。
- TNCとパソコンの接続方法については、使用するTNCの取扱説明書などを参照してください。

## クローン操作

オプションのクローンケーブル(CT-168)を使って、メモリー内容や各種の設定などを、別のFT5Dにクローン(コピー)できます。



1. クローンをする2台のFT5Dの電源をオフにします。
2. 側面のDATA端子のラバーキャップをめくり、オプションのクローンケーブル(CT-168)で2台を接続します。
3. [F MENU]キーを押しながら、それぞれのFT5Dの電源をオンにします。  
ディスプレイに“CLONE”と表示され、クローンモードになります。
4. データを受ける側のFT5Dの[RECEIVE]にタッチします。  
ディスプレイに“WAIT”と表示されます。
5. データを送る側のFT5Dの[SEND]にタッチします。
  - ディスプレイに“TX”と表示され、クローンが開始されます。
  - 受け側のFT5Dの表示が“WAIT”から“RX”に変わります。
  - クローン中は、ディスプレイにクローンの進み具合の目安がバーグラフで表示されます。
6. クローンが終了すると、受け側のFT5Dは通常モードになり、送り側のFT5Dは表示が“TX”から“CLONE”に戻ります。
7. 2台のFT5Dの電源をオフにして、クローンケーブルを外します。



- “ERROR”が表示された場合は、正常にクローンができていません。クローンケーブルの接続を確認して、もう一度手順1からやり直してください。
- 時刻の設定値はコピーされません。

## パソコンとの接続

付属のUSBケーブルを使用して、FT5Dのデータ端子とパソコンを接続してファームウェアアップデートができます。

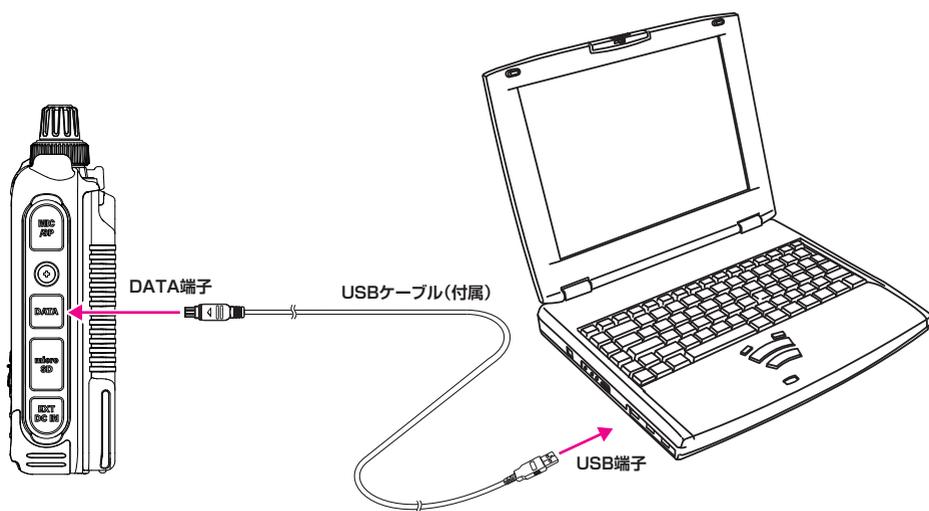
### ファームウェアアップデート

FT5Dのファームウェアのアップデートを行うことができます。

本機のファームウェアが更新された際、当社のウェブサイトからデータをダウンロードしてファームウェアをアップデートすると、最新の状態でFT5Dをご使用いただけます。



WIRES-XコネクションケーブルキットSCU-39に同梱のSCU-19では、ファームウェアアップデートをすることはできません。本機に付属のUSBケーブルをお使いください。



## 設定を初期値に戻す(リセット)

### オールリセット

#### 注 意

リセットを行うと、全ての設定やメモリー内容などが工場出荷時設定に戻ります。リセットを行う前に、必要な設定やメモリー内容は必ず紙などに控えておくか microSD メモリーカードにバックアップしてください。

本機の全ての設定やメモリー内容を初期値(工場出荷時)に戻すことができます。

1. 本機の電源をオフにします。
2. **[F MENU]**、**[A/B]**、**[BAND]**の3つのキーを同時に押しながら、電源をオンにします。  
ピープ音が鳴り、確認画面が表示されます。
3. **[OK]**にタッチするとピープ音が鳴り、オールリセットされます。
  - オールリセット後には、コールサインの入力画面が表示されますので、コールサインを設定してください。
  - **[CANCEL]**にタッチするとリセット操作を中止します。

### セットアップメニューリセット

本機のセットモードの設定だけを、初期値(工場出荷時)に戻すことができます。

1. 本機の電源をオフにします。
2. **[F MENU]**、**[A/B]**の2つのキーを同時に押しながら、電源をオンにします。  
ピープ音が鳴り、確認画面が表示されます。
3. **[OK]**にタッチするとピープ音が鳴り、セットアップメニューの設定がリセットされます。
  - リセット操作を中止するには、**[CANCEL]**にタッチします。
  - セットアップメニューリセットでは、下記のセットアップメニュー項目はリセットされません。下記の項目も含めてリセットする場合はオールリセットをしてください。

#### [DISPLAY]

8 オープニング メッセージ

#### [SIGNALING]

- 1 ベル 設定
- 2 DCS コード
- 3 DCS 位相反転
- 5 DTMF メモリー 設定
- 6 ページャー 動作設定
- 7 私鉄空線周波数
- 9 Sメーター スケルチ
- 11 スケルチ タイプ
- 12 TSQ 周波数

#### [WIRES-X]

- 1 RPT/WIRES 周波数
- 2 検索表示順 設定
- 3 CATEGORY タグ編集

#### [CALLSIGN]

コールサイン

#### [TX/RX]

- 1-1 アッテネーター
- 1-2 FM変調帯域幅
- 1-3 受信モード 設定
- 2-4 DIGITAL VW 設定

#### [SCAN]

5 SCAN 帯域設定

#### [CONFIG]

- 6 クロック タイプ
- 12 パスワード 設定
- 15 RPT シフト
- 16 RPT シフト 周波数
- 18 周波数ステップ

#### [OPTION]

- 2 Bluetooth
- 3 Bluetooth デバイスリスト
- 4 Bluetooth オーディオ

#### [MEMORY]

- 1 バンクリンク 設定
- 2 バンクネーム 設定
- 3 メモリーネーム 設定
- 5 メモリー スキップ

#### [GM]

1 DP-ID LIST

#### [APRS]

- 6 APRS MSG グループ
- 7 APRS MSG テキスト
- 13 BEACON インフォメーション
- 15 BEACON ステータス テキスト
- 17 COM ポート 設定
- 18 DIGI パス 設定
- 19 GPS 測位設定
- 23 コールサイン(APRS)
- 24 MYポジション
- 25 MY シンボル

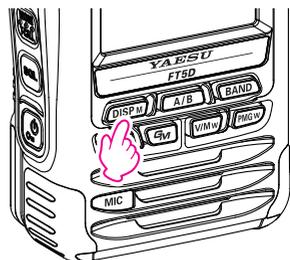
## セットアップメニュー

セットアップメニューを使って、本機のさまざまな機能を使い方にあわせてカスタマイズできます。

### セットアップメニューの操作方法

1. [F MENU]キーを長く押します。

セットアップメニュー画面が表示されます。



2. セットアップメニューの項目にタッチして選択します。

- サブメニュー画面が表示されます。
- DIALツマミをまわして、[F MENU]キーを押して選択することもできます。



3. サブメニューにタッチします。

- 表示されていないサブメニューは、DIALツマミをまわして表示させてからタッチします。
- DIALツマミをまわして、[F MENU]キーを押して選択することもできます。



4. 【次の階層がない場合】

手順5へ進みます。

【次の階層がある場合】

次の階層の項目にタッチします。

または、DIALツマミをまわして項目を選択して、[F MENU]キーを押します。

5. DIALツマミをまわして、設定を変更します。

6. PTTスイッチを押すと、設定内容を保存して通常画面に戻ります。

一部の設定項目ではPTTスイッチを押しても通常画面に戻りません。この場合には[BACK]キーを押して上の階層に戻ってから、PTTスイッチを押してください。



[F MENU]キーまたは[BACK]キー以外のフロントパネル操作キーを押すと、一部の設定項目を除いて、設定内容を保存して通常画面に戻ります。

# セットアップメニュー機能の一覧表

セットアップメニュー番号 / 項目	機能説明	選択項目 (太字は工場出荷時の値)
<b>DISPLAY</b>		
1 位置情報表示	スマートナビゲーション機能の表示方法を設定	<b>COMPASS</b> / NUMERIC
2 画面上側方位	スマートナビゲーション機能のコンパスの表示方法を設定	<b>HEADING UP</b> /NORTH UP
3 バンドスコープ	バンドスコープのサーチチャンネル切り替え	19ch / <b>39ch</b> / 79ch
4 ランプ	バックライト、キーの照明時間設定	キー: OFF/ 2秒 ~ <b>30秒</b> ~ 180秒 / 連続 SAVE: ON / <b>OFF</b>
5 言語設定	セットアップメニュー、メニューなどの日本語 / 英語の切り替え	<b>JAPANESE</b> :日本語 / ENGLISH:英語
6 LCD 画面輝度	LCDバックライト、キー照明の輝度設定	レベル1 ~ <b>レベル6</b>
7 表示色設定	画面の表示色を設定	<b>WHITE</b> / BLUE / RED
8 オープニング メッセージ	オープニングメッセージの設定	OFF / <b>DC</b> / MESSAGE
9 センサー インフォメーション	電圧表示機能	電圧
10 ソフトウェア バージョン	ソフトウェアのバージョンを表示	Main Ver. / Sub Ver. / DSP Ver.
<b>TX/RX</b>		
<b>1 モード</b>		
1 アッテネーター	アッテネーターのON/OFF	ON / <b>OFF</b>
2 FM変調帯域幅	FM変調帯域幅の設定	<b>WIDE</b> / NARROW
3 受信モード 設定	受信モードの切り替え	<b>AUTO</b> / FM / AM
<b>2 デジタル</b>		
1 ポップアップ設定	C4FMデジタルモードで信号を受信したとき相手局のコールサインを表示する時間設定	OFF / BAND2秒 / BAND4秒 / BAND6秒 / BAND8秒 / <b>BAND10秒</b> / BAND20秒 / BAND30秒 / BAND60秒 / BAND連続
2 位置情報ON/OFF	デジタルモードでの自局位置の表示設定	<b>ON</b> / OFF 機能の詳細については、取扱説明書<GM機能編>を参照してください。
3 スタンバイビープ	C4FMデジタルモードのスタンバイビープ音のON/OFF	<b>ON</b> / OFF
4 DIGITAL VW 設定	VW(Voice FR)モードの選択設定	<b>OFF</b> / ON
5 オーディオピッチ	デジタルモードの受信音の音質設定	<b>FLAT</b> / HIGH BOOST / LOW BOOST
<b>3 オーディオ</b>		
1 マイク ゲイン	マイク入力レベルの調整	レベル1~ <b>レベル5</b> ~レベル9
2 ミュート	操作バンドに信号が入感した時のサブバンド側音声のミュート設定	OFF / MUTE 30% / MUTE 50% / <b>MUTE 100%</b>
3 RX AF DUAL	ラジオ放送同時受信の設定	送受信1秒 ~ <b>送受信2秒</b> ~ 送受信10秒 / 固定 / 送信1秒 ~ 送信10秒
4 SP 切り替え	外部SP/MIC接続時のスピーカーの切替動作の設定	<b>AUTO</b> /FIX
5 VOX 設定	VOX(音声自動送信)の設定	VOX: <b>OFF</b> / LOW / HIGH DELAY: <b>0.5秒</b> / 1.0秒 / 1.5秒 / 2.0秒 / 2.5秒 / 3.0秒 /
6 録音設定	録音機能の設定	BAND: <b>A</b> / B / A+B MIC: ON / <b>OFF</b>

セットアップメニュー番号 / 項目	機能説明	選択項目 (太字は工場出荷時の値)
<b>MEMORY</b>		
1 バンクリンク 設定	メモリーバンクリンク設定	BANK1 ~ BANK24のBANK LINKの ON / <b>OFF</b>
2 バンクネーム 設定	メモリーバンクに名前を編集	BANK1 ~ BANK24
3 メモリーネーム 設定	メモリータグ(名前)の書き込み (メモリーモード時のみ操作可能)	最大16文字
4 メモリー プロテクト	メモリー書き込みの禁止	ON / <b>OFF</b>
5 メモリー スキップ	スキップメモリー / 指定メモリーの設定 (メモリーモード時のみ操作可能)	<b>OFF</b> / SKIP / SELECT
6 メモリー 書き込み方法	メモリー書き込み時のオートインクリメント設定	<b>NEXT</b> / LOWER
<b>SIGNALING</b>		
1 ベル 設定	ベル機能の出力設定	SELECT: <b>OFF</b> / BELL RINGER: <b>1回</b> ~ 20回 / 連続
2 DCS コード	DCSコードの設定 DCSコードサーチ機能	<b>023</b> ~ 754 SEARCH
3 DCS 位相反転	DCS反転コードの送受信の組み 合わせ設定	受信: <b>同相</b> / 反転位相 / 両相 送信: <b>同相</b> / 反転位相
4 DTMF 動作設定	DTMFメモリー送出設定 DTMF送出ディレイ時間設定 DTMF送出スピード設定	MODE: <b>MANUAL</b> / AUTO DELAY: 50ms / 250ms / <b>450ms</b> / 750ms / 1000ms SPEED: <b>50ms</b> / 100ms
5 DTMF メモリー 設定	DTMFオートダイアラー機能の DTMFコード(16桁)の設定	CH1 ~ CH10
6 ページャー 動作設定	ページャーアンサーバック機能の設定 個別コード(受信)の設定 個別コード(送信)の設定	ANS-BACK: ON / <b>OFF</b> CODE-RX: 各01 ~ 50 <b>05 47</b> CODE-TX: 各01 ~ 50 <b>05 47</b>
7 私鉄空線周波数	空線スケルチ周波数の設定	300Hz ~ <b>1600Hz</b> ~ 3000Hz
8 スケルチ レベル	スケルチレベルの設定	レベル0 ~ <b>レベル1</b> ~ レベル15 AM/FMラジオバンドは レベル0 ~ <b>レベル1</b> (AMラジオ) ~ <b>レベル2</b> (FMラジオ) ~ レベル8
9 Sメーター スケルチ	Sメータースケルチのレベル設定	<b>OFF</b> / レベル1 ~ レベル10
10 スケルチ 拡張機能	送受信で別々のスケルチタイプの設定 の許可	ON / <b>OFF</b>
11 スケルチ タイプ	スケルチタイプの設定	<b>OFF</b> / TONE / TONE SQL / DCS / REV TONE / JR FREQ / PR FREQ / PAGER / (D CD) / (TONE-DCS) / (D CD-TONE SQL) ※括弧内は“10 スケルチ拡張機能”の 設定が“ON”の時のみ選択可能です。
12 TSQ 周波数	トーン周波数の設定 トーンサーチ機能	67.0Hz ~ <b>88.5Hz</b> ~ 254.1Hz SEARCH機能
13 TONE サーチ 設定	トーンサーチ動作中の音声出力ミュートの設定 トーンサーチ動作スピードの設定	MUTE: <b>ON</b> / OFF SPEED: <b>高速</b> / 低速

セットアップメニュー番号 / 項目	機能説明	選択項目 (太字は工場出荷時の値)
<b>SCAN</b>		
1 DW インターバル	デュアルレシーブ時のプライオリティチャンネル監視時間間隔の設定	0.1秒 ~ <b>5.0秒</b> ~ 10秒
2 SCAN ランプ	スキャンストップ時のランプ点灯	<b>ON</b> / OFF
3 SCAN リスタート	スキャン再開時間の設定	0.1秒 ~ <b>2.0秒</b> ~ 10秒
4 SCAN RESUME	スキャンストップ時の動作再開の設定 デュアルレシーブストップ時の動作再開の設定	SCAN: BUSY / HOLD / 2.0秒 ~ <b>5.0秒</b> ~ 10.0秒 DW: BUSY / <b>HOLD</b> / 2.0秒 ~ 10.0秒
5 SCAN 帯域設定	スキャンモードの動作設定	VFO: <b>ALL</b> / BAND MEMORY: <b>ALL CH</b> / BAND BANK LINK: <b>ON</b> / OFF
6 プライオリティリポート	プライオリティリポートの設定	ON / <b>OFF</b>
<b>GM</b>		
※ GM機能の詳細については、取扱説明書<GM機能編>を参照してください。取扱説明書<GM機能編>は当社ウェブサイトからダウンロードすることができます。		
1 DP-ID LIST	DP-IDリストを表示します。受信したコールサインの登録/削除	-
2 RADIO ID CHECK	無線機固有のRADIO IDを表示 (編集不可)	-
<b>WIRES-X</b>		
※ WIRES-X機能の詳細については、取扱説明書<WIRES-X編>を参照してください。取扱説明書<WIRES-X編>は当社ウェブサイトからダウンロードすることができます。		
1 RPT/WIRES 周波数	レピータ/WIRES-Xで運用するプリセット周波数の設定	<b>MANUAL</b> / PRESET プリセット周波数: <b>145.780MHz</b>
2 検索表示順 設定	WIRES-Xルームの選択方法の設定	<b>HISTORY</b> / ACTIVITY
3 CATEGORY タグ編集	カテゴリータグの編集	C1~C5
4 ROOM/NODE 削除	カテゴリーに登録されているROOMの削除	C1~C5
5 DG-ID	WIRES-Xノード局に接続するDG-IDの設定	01~99 / <b>AUTO</b>
<b>CONFIG</b>		
1 オートパワーオフ 設定	オートパワーオフ動作時間の設定	<b>OFF</b> / 30分~12時間00分
2 受信CH送信ロック	信号受信中の送信禁止の設定	ON / <b>OFF</b>
3 BEEP	ビーブ音の出力設定・バンドエッジ / CH1通過時の確認音設定	SELECT: <b>KEY&amp;SCAN</b> / KEY / OFF EDGE: ON / <b>OFF</b>
4 BEEP レベル	ビーブ音の音量設定	HIGH / <b>LOW</b>
5 BUSY LED	BUSYインジケータのON/OFF設定	A BAND: <b>ON</b> / OFF B BAND: <b>ON</b> / OFF RADIO: <b>ON</b> / OFF
6 クロック タイプ	クロックシフトの設定	<b>A</b> / B
7 GPS ログインターバル	GPSログ(移動軌跡保存)を記録する時間間隔の設定	<b>OFF</b> / 1秒 / 2秒 / 5秒 / 10秒 / 30秒 / 60秒
8 HOME VFO	ホームチャンネルでのVFO転送の許可 / 禁止	<b>許可</b> / 禁止
9 ロックモード	ロックモードの設定	<b>KEY&amp;DIAL</b> / PTT / KEY&PTT / DIAL&PTT / ALL / KEY / DIAL

セットアップメニュー番号 / 項目	機能説明	選択項目 (太字は工場出荷時の値)
10 モニター/T-CALL	MONI/T-CALLキーの機能設定	<b>MONI</b> / T-CALL
11 TIMER設定	電源オンタイマー/オフタイマーの設定	POWER ON: <b>00:00</b> ~ 23:59 POWER OFF: <b>00:00</b> ~ 23:59
12 パスワード 設定	電源オン時のパスワードの入力	<b>OFF</b> / ON : ----
13 PTT デレイ	PTTデレイタイムの設定	<b>OFF</b> / 20ms / 50ms / 100ms / 200ms
14 RPT ARS	ARS(オートレピーターシフト)機能のON/OFF設定	<b>ON</b> / OFF
15 RPT シフト	レピータシフト方向の設定	<b>SIMPLEX</b> / -RPT / +RPT
16 RPT シフト 周波数	レピータシフト幅の設定	0.000MHz ~ 150.000MHz
17 受信 セーブ 設定	受信セーブ時間の設定	OFF / <b>0.05秒(1:1)</b> ~ 20.0秒(1:400)
18 周波数ステップ	チャンネルステップの設定	<b>AUTO</b> / 5.0KHz / 6.25KHz / (8.33KHz) / (9.0KHz) / 10.0KHz / 12.5KHz / 15.0KHz / 20.0KHz / 25.0KHz / 50.0KHz / 100.0KHz
19 日付時刻設定	本機に内蔵されている時計機能の設定	— 時報設定
20 TOT	タイムアウトタイマーの設定	<b>OFF</b> / 30秒 ~ 10分00秒
21 VFO MODE	VFOモード時のDIALツマミでの周波数設定範囲の設定	<b>ALL</b> / BAND
22 BAND 選択設定	AバンドとBバンドそれぞれで選択できるバンド(周波数帯)を設定(OFFERには50MHz帯*, VHF(1)、VHF(2)、UHF(1)、UHF(2)*を含みませぬ。) ※: Aバンドのみ	AIR: <b>ON</b> / OFF VHF: <b>ON</b> / OFF UHF: <b>ON</b> / OFF OTHER: <b>ON</b> / OFF SW*: <b>ON</b> / OFF AM*: <b>ON</b> / OFF FM*: <b>ON</b> / OFF ※: Aバンドのみ 注意: 全てのバンドをOFFに設定することはできません。
23 ダイヤルノブ入れ換え	DIALツマミとVOLツマミの機能の入れ換え	上側ツマミ: <b>DIALツマミ</b> 下側ツマミ: <b>VOLツマミ</b>
<b>APRS</b>		
※ APRS機能の詳細については、取扱説明書<APRS編>を参照してください。取扱説明書<APRS編>は当社ウェブサイトからダウンロードすることができます。		
1 APRS AF DUAL	APRS機能が動作中でAFデュアル機能が動作中の音声ON/OFF設定	ON / <b>OFF</b>
2 APRS DESTINATION	モデルコードの表示	APY05D(編集不可)
3 APRS フィルター	フィルター機能の選択	Mic-E: <b>ON</b> / OFF POSITION: <b>ON</b> / OFF WEATHER: <b>ON</b> / OFF OBJECT: <b>ON</b> / OFF ITEM: <b>ON</b> / OFF STATUS: <b>ON</b> / OFF OTHER: ON / <b>OFF</b> ALTNET: ON / <b>OFF</b>
4 APRS ボーレート 設定	APRSボーレートの設定 (APRS機能オン/オフ)	<b>OFF</b> / 1200bps (APRS機能オン) / 9600bps (APRS機能オン)
5 APRS MSG FLASH	APRSメッセージ着信を知らせるストロボ(LED白色)点滅設定	MSG: OFF / 2秒~ <b>4秒</b> ~60秒 / 連続 / 毎2秒~毎10分 GRP: OFF / 2秒~ <b>4秒</b> ~60秒 / 連続 BLN: OFF / 2秒~ <b>4秒</b> ~60秒 / 連続

セットアップメニュー番号 / 項目	機能説明	選択項目 (太字は工場出荷時の値)
6 APRS MSG グループ	受信メッセージのグループ フィルター設定	G1: <b>ALL</b> ***** G2: CQ***** G3: QST***** G4: YAESU**** G5: ----- B1: BLN***** B2: BLN* B3: BLN*
7 APRS MSG テキスト	定型メッセージテキストの入力	1 ~ 8
8 APRS ミュート	APRS設定時のBバンドAFミュートの ON/OFF設定	ON / <b>OFF</b>
9 APRS ポップアップ	ポップアップ表示させるビーコンやメッ セージの種類と時間の設定	Mic-E, POSITION, WEATHER, OBJECT, ITEM, STATUS, OTHER, MY PACKET, MSG, GRP, BLN: OFF / ALL 2秒 ~ <b>ALL 10秒</b> ~ ALL 60秒 / ALL 連続 / BND 2秒 ~ BND 60秒 / BND 連続 MY MSG, DUP.BCN, DUP.MSG, ACK.REJ, OTHER MSG: OFF / BND 2秒 ~ <b>BND 10秒</b> ~ BND 60秒
10 APRS リンガー	ビーコンやメッセージの着信時の ベル音設定	Mic-E: <b>ON</b> / OFF POSITION: <b>ON</b> / OFF WEATHER: <b>ON</b> / OFF OBJECT: <b>ON</b> / OFF ITEM: <b>ON</b> / OFF STATUS: <b>ON</b> / OFF OTHER: <b>ON</b> / OFF MY PACKET: <b>ON</b> / OFF MSG: <b>ON</b> / OFF GRP: <b>ON</b> / OFF BLN: <b>ON</b> / OFF MY MSG: <b>ON</b> / OFF DUP.BCN: <b>ON</b> / OFF DUP.MSG: <b>ON</b> / OFF ACK.REJ: <b>ON</b> / OFF OTHER MSG: <b>ON</b> / OFF TX BCN: <b>ON</b> / OFF TX MSG: <b>ON</b> / OFF
11 APRS 単位	APRS表示の単位設定	POSITION: <b>MM.MM'</b> / MM'SS" DISTANCE: <b>km</b> / mile SPEED: <b>km/h</b> / knot / mph ALTITUDE: <b>m</b> / ft TEMP: <b>°C</b> / °F RAIN: <b>mm</b> / inch WIND: <b>m/s</b> / mph
12 APRS TX デレイ	データ送出デレイ時間の設定	100ms ~ <b>300ms</b> ~ 1000ms
13 BEACON インフォメーション	送信ビーコン情報の設定	AMBIGUITY: <b>OFF</b> / 1 digit / 2 digit / 3 digit / 4 digit SPD/CSE: <b>ON</b> / OFF ALTITUDE: <b>ON</b> / OFF
14 BEACON インターバル	ビーコンの自動送信間隔の設定	30秒 / 1分 / 2分 / 3分 / <b>5分</b> / 10分 / 15分 / 20分 / 30分 / 60分

セットアップメニュー番号 / 項目	機能説明	選択項目 (太字は工場出荷時の値)
15 BEACON ステータス テキスト	ステータステキストの入力設定	S.TXT: ON / <b>OFF</b> TX RATE: <b>1/1</b> ~ 1/8 TEXT: <b>Text 1</b> ~ Text 5
16 BEACON TX	ビーコンの自動送信 / 手動送信の 切り替え	AUTO / <b>MANUAL</b> / (SMART)* ※:27 スマートビーコニング設定を TYPE1~3に設定したときのみ表示され ます。
17 COM ポート 設定	COMポートの設定	STATUS: ON / <b>OFF</b> (ONに設定する と以下の設定項目が表示されます。) SPEED: 4800 / <b>9600</b> / 19200 / 38400 INPUT: <b>OFF</b> / GPS OUTPUT: <b>OFF</b> / GPS / WAY.P WAYPOINT: <b>NMEA9</b> / NMEA6 / NMEA7 / NMEA8 Mic-E: <b>ON</b> / OFF POSITION: <b>ON</b> / OFF WEATHER: <b>ON</b> / OFF OBJECT: <b>ON</b> / OFF ITEM: <b>ON</b> / OFF
18 DIGI パス 設定	デジピータールートの設定	P1* OFF P2(1)* <b>1 WIDE1-1</b> P3(2)* 1 WIDE1-1 / 2 WIDE2-1 P4(2) 1..... / 2..... P5(2) 1..... / 2..... P6(2) 1..... / 2..... P7(2) 1..... / 2..... P8(8) 1..... ~ 8..... ※: 設定値は変更不可
19 GPS 測位設定	GPS機能の測位選択	DATUM: <b>WGS-84</b> / Tokyo (Mean) PINNING: <b>ON</b> / OFF DGPS: <b>ON</b> / OFF
20 GPS 電源	GPS機能のON/OFF設定	<b>GPS ON</b> / GPS OFF
21 GPS 時刻設定	GPS時刻データの自動取得ON/OFF設定	<b>AUTO</b> / MANUAL
22 GPS 単位	GPS表示の単位設定	POSITION: <b>.MMM'</b> / 'SS" SPEED: <b>km/h</b> / knot / mph ALTITUDE: <b>m</b> / ft
23 コールサイン(APRS)	自局のAPRS用コールサイン設定	-----
24 MY ポジション	自局位置の設定	<b>GPS</b> / Manual / P1 ~ P10
25 MY シンボル	自局シンボルの設定	<b>1</b> / ([Human/Person]) / 2(/b Bicycle) / 3(> Car) / 4(YY Yaesu Radios) を含む計48アイコン
26 ポジション コメント	ポジションコメントの設定	<b>Off Duty</b> / En Route / In Service / Returning / Committed / Special / Priority / Custom 0 ~ Custom 6 / EMERGENCY!
27 スマートビーコニング 設定	スマートビーコニングの設定	STATUS: <b>OFF</b> / TYPE1 / TYPE2 / TYPE3 ※: TYPEごとの設定項目については、 取扱説明書<APRS編>を参照して ください。
28 タイムゾーン	タイムゾーンの設定	UTC -13:00 ~ UTC 0:00 ~ <b>UTC + 9:00</b> ~ UTC +13:00

セットアップメニュー番号 / 項目	機能説明	選択項目 (太字は工場出荷時の値)
<b>SD CARD</b>		
1 バックアップ	本機のすべての設定情報をmicroSDメモリーカードに書き込みまたは読み込みする	SDに書き込み / SDから読み込み
2 メモリー チャンネル	メモリーチャンネル情報をmicroSDメモリーカードに書き込みまたは読み込みする	SDに書き込み / SDから読み込み
3 メモリー 情報	microSDメモリーカードのメモリー使用状況を表示	—
4 フォーマット	microSDメモリーカードの初期化	—
<b>OPTION</b>		
1 USB カメラ	カメラ付きマイクMH-85A11Uの画像サイズと画質およびスピーカー(本体内蔵/マイク)の設定	サイズ: 160*120 / <b>320*240</b> 画質: <b>LOW</b> / NORMAL / HIGH SP SEL: <b>CAMERA</b> / INT SP
2 Bluetooth	Bluetooth機能の設定	<b>OFF</b> / ON
3 Bluetooth デバイスリスト	登録済またはサーチで見つかったBluetooth機器のリスト	—
4 Bluetooth オーディオ	Bluetooth機器接続時の内蔵スピーカーの動作切替設定	<b>AUTO</b> / FIX
<b>CALLSIGN</b>		
CALLSIGN	コールサインの設定(大文字のアルファベット、数字、-、/の最大10桁)	XXXXXXXXXX

# セットアップメニューの詳細

## DISPLAYメニュー

### 1 位置情報表示

スマートナビゲーション画面の表示方法を設定します。

1. [F MENU]キー長押し → [DISPLAY]にタッチ → [1 位置情報表示]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、表示方法を選択します。

COMPASS	コンパスが表示されます。
NUMERIC	緯度経度が表示されます。

工場出荷設定時: COMPASS

### 2 画面上側方位

コンパスの表示方法を設定します。

1. [F MENU]キー長押し → [DISPLAY]にタッチ → [2 画面上側方位]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、表示方法を選択します。

HEADING UP	進行方向が上に表示されます。
NORTH UP	北が上に表示されます。

工場出荷設定時: HEADING UP

### 3 バンドスコープ

バンドスコープの表示チャンネル数を設定します。

1. [F MENU]キー長押し → [DISPLAY]にタッチ → [3 バンドスコープ]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、サーチするチャンネル数を選択します。

19ch / 39ch / 79ch

工場出荷設定時: 39ch

### 4 ランプ

ディスプレイとキーのバックライトを点灯する条件を設定します。

1. [F MENU]キー長押し → [DISPLAY]にタッチ → [4 ランプ]にタッチ
2. DIALツマミをまわして“キー”を選択し、[F MENU]キーを押します。
3. DIALツマミをまわして、点灯条件を選択します。

キー

キー2秒～キー180秒	DIALツマミを回すか、またはキーを押すと、設定した時間点灯します。
連続	点灯し続ける
OFF	点灯しない

工場出荷設定時: キー30秒

4. [BACK]キーを押します。

5. DIALツマミをまわして“**SAVE**”を選択し、[F MENU]キーを押します。
6. DIALツマミをまわし、点灯条件で設定した時間が経過した後のランプの状態を選択します。

### SAVE

OFF	“キー”で選択したランプ点灯時間がタイムアウトした後、バックライトは“6 LCD画面輝度”の“レベル1”の明るさで連続点灯する
ON	“キー”で選択したランプ点灯時間がタイムアウトした後、バックライトは消灯する

工場出荷設定時: OFF



“キー”の設定項目で“連続”を選択した場合は、“SAVE”項目の設定に関係なく、“6 LCD 画面輝度”で設定した輝度で連続点灯します。

## 5 言語設定

画面に表示する言語を“日本語”または“英語”から選択します。

1. [F MENU]キー長押し → [DISPLAY]にタッチ → [5 言語設定]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、言語を選択します。

JAPANESE: 日本語	日本語が設定されます。
ENGLISH: 英語	英語が設定されます。

工場出荷設定時: JAPANESE: 日本語

## 6 LCD 画面輝度

ディスプレイとキーのバックライトの明るさを調節します。

1. [F MENU]キー長押し → [DISPLAY]にタッチ → [6 LCD 画面輝度]にタッチ
2. DIALツマミをまわして、輝度を選択します。

レベル1～レベル6

工場出荷設定時: レベル6

## 7 表示色設定

操作バンドの表示色を白または青、赤から自由に選択することができます。

1. [F MENU]キー長押し → [DISPLAY]にタッチ → [7 表示色設定]にタッチ
2. DIALツマミをまわして、画面の表示色を選択します。

**WHITE** / BLUE / RED

工場出荷設定時: WHITE

## 8 オープニング メッセージ

電源を入れたときにYAESUロゴの下に表示する内容を設定します。

1. [F MENU]キー長押し → [DISPLAY]にタッチ → [8 オープニング メッセージ]にタッチ
2. DIALツマミをまわして表示する内容を選択します。

OFF	電源を入れた時に、オープニングメッセージを表示せず、すぐに受信周波数等を表示します。
DC	電源を入れた時に、電源電圧を表示します。
MESSAGE	電源を入れた時に、半角で最大16文字のメッセージを表示します。 [F MENU]キーを押すと、メッセージの登録画面に切り替わります。 “文字入力画面の操作”(取扱説明書<基本編>)を参照して、メッセージを入力します。入力が完了したら[F MENU]キーを押します。

工場出荷設定時: DC

## 9 センサー インフォメーション

リチウムイオン電池パックの電圧を表示します。本機に外部電源が接続されている場合は、EXT DC IN端子の電源電圧を表示します。

1. [F MENU]キー長押し → [DISPLAY]にタッチ → [9 センサー インフォメーション]にタッチ  
電圧が表示されます。



- 使用している電源によって、次のように表示が変わります。  
電池パック使用時: “Lit”、乾電池ケース使用時: “Dry”、EXT DC IN端子接続時: “Ext”
- モノバンド表示では、電源電圧を常に表示します。

## 10 ソフトウェア バージョン

本機のソフトウェアのバージョンを表示します。

1. [F MENU]キー長押し → [DISPLAY]にタッチ → [10 ソフトウェア バージョン]にタッチ
2. “Main”、“Sub”、“DSP”のソフトウェアバージョンが表示されます。

## TX/RXメニュー

### 1 モード

#### 1 アッテネーター

相手の信号が強すぎる時や、近くに強力な信号があって相手の信号が聞きにくい場合に、アッテネーター(ATT)機能をオンにして聞きやすくします。

1. [F MENU]キー長押し → [TX/RX]にタッチ → [1 モード]にタッチ  
→ [1 アッテネーター]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、表示方法を選択します。

OFF	ATT機能がオフになり、通常の受信感度になります。
ON	ATT機能がオンになり、受信感度が約10dB下がります。

工場出荷設定時: OFF

## 2 FM変調帯域幅

---

送信変調レベルを通常の約半分に設定できます。

通常は“WIDE”のままで使用してください。

1. [F MENU]キー長押し → [TX/RX]にタッチ → [1 モード]にタッチ  
→ [2 FM変調帯域幅]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、表示方法を選択します。

WIDE	通常の送信変調レベルになります。
NARROW	送信変調レベルが通常の約半分にになります。

工場出荷設定時: WIDE

## 3 受信モード 設定

---

受信モード(電波型式)を設定します。

1. [F MENU]キー長押し → [TX/RX]にタッチ → [1 モード]にタッチ  
→ [3 受信モード 設定]にタッチ  
“AUTO”(周波数帯に応じた最適なモードを自動選択)または“FM”、“AM”から選択します。  
詳細については、“通信モードを手動で設定する”(取扱説明書<基本編>)を参照してください。

## 2 デジタル

### 1 ポップアップ設定

---

コールサインなど、相手局の情報をディスプレイに表示する時間を設定します。

1. [F MENU]キー長押し → [TX/RX]にタッチ → [2 デジタル]にタッチ  
→ [1 ポップアップ設定]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、表示方法を選択します。

OFF	相手局の情報を表示しません。
BAND 2秒～ BAND 60秒	表示させる時間を設定します。 BAND 2秒 / BAND 4秒 / BAND 6秒 / BAND 8秒 / <b>BAND 10秒</b> / BAND20秒 / BAND 30秒 / BAND 60秒
BAND 連続	常に相手局の情報を表示します。

工場出荷設定時: BAND 10秒

### 2 位置情報ON/OFF

---

デジタルモードで自局位置を表示するかどうかを選択します。

1. [F MENU]キー長押し → [TX/RX]にタッチ → [2 デジタル]にタッチ  
→ [2 位置情報ON/OFF]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、表示方法を選択します。

ON	自局情報を表示します。
OFF	自局情報を表示しません。

工場出荷設定時: ON

### 3 スタンバイビープ

デジタルモードで、相手局の送信終了時に「ピッ」というスタンバイビープ音を出力するかどうかを設定します。

1. [F MENU]キー長押し → [TX/RX]にタッチ → [2 デジタル]にタッチ → [3 スタンバイビープ]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、出力方法を選択します。

ON	スタンバイビープ音を出力します。
OFF	スタンバイビープ音を出力しません。

工場出荷設定時: ON

### 4 DIGITAL VW 設定

[MODE]にタッチして通信モードを手動で選択するときに、DIGITAL VW(Voice FR)モードが選択できるようにするかどうかを設定します。

1. [F MENU]キー長押し → [TX/RX]にタッチ → [2 デジタル]にタッチ → [4 DIGITAL VW 設定]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、ONまたはOFFを選択します。

ON	DIGITAL VW(Voice FR)モードが選択できます。
OFF	DIGITAL VW(Voice FR)モードは選択できません。

工場出荷設定時: OFF

### 5 オーディオピッチ

デジタルモードの受信音を聞き取りやすい音質に設定できます。

1. [F MENU]キー長押し → [TX/RX]にタッチ → [2 デジタル]にタッチ → [5 オーディオピッチ]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、ONまたはOFFを選択します。

FLAT	通常のフラットな音質になります。
HIGH BOOST	高域を強調した音質になります。
LOW BOOST	低域を強調した音質になります。

工場出荷設定時: FLAT

## 3 オーディオ

### 1 マイクゲイン

内蔵マイクやオプションの外部マイクのマイク入力レベルが調節できます。

1. [F MENU]キー長押し → [TX/RX]にタッチ → [3 オーディオ]にタッチ → [1 マイクゲイン]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、マイク感度を選択します。
3. レベル1～レベル9

工場出荷設定時: レベル5



- マイクゲインのレベルを上げすぎると、音声が歪んだり周囲の音を拾って了解度が悪くなる場合があります。
- マイクを変えたときは、必ずマイクゲインを調節してください。

## 2 ミュート

デュアル受信しているときに、操作バンドとサブバンドで同時に信号を受信している間、サブバンドの受信音を自動的にミュート(100%、50%、30%)するか、またはミュートしないように設定できます。

1. [F MENU]キー長押し → [TX/RX]にタッチ → [3 オーディオ]にタッチ → [2 ミュート]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、ミュートを設定します。

OFF	ミュートしません。
MUTE 30%	音量を約30%下げます。
MUTE 50%	音量を約50%下げます。
MUTE 100%	完全にミュート(消音)します。

工場出荷設定時: MUTE 100%

## 3 RX AF DUAL

AF DUAL受信中に、他のバンドで信号受信または送信してから、受信ラジオ放送の受信を再開するまでの時間を設定できます。

1. [F MENU]キー長押し → [TX/RX]にタッチ → [3 オーディオ]にタッチ → [3 RX AF DUAL]にタッチ
- 詳細については、“ラジオ受信の再開動作の設定”(33ページ)を参照してください。

## 4 SP 切り替え

MIC/SP端子にオプションのスピーカーマイクやイヤピースマイクなどのプラグを接続した場合に、本機の内蔵スピーカーから音を鳴らすかどうかを設定することができます。

1. [F MENU]キー長押し → [TX/RX]にタッチ → [3 オーディオ]にタッチ → [4 SP 切り替え]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、MIC/SP端子にプラグを接続した時の内蔵スピーカーの切り替え動作を設定します。

AUTO	外部スピーカーマイクなどを接続したとき、本機の内蔵スピーカーは鳴りません
FIX	外部スピーカーマイクなどを接続したとき、本機の内蔵スピーカーが同時に鳴ります

工場出荷設定時: AUTO

## 5 VOX 設定

VOX機能のON(LOW/HIGH)/OFF、受信に戻るまでのディレイ時間が設定ができます。

1. [F MENU]キー長押し → [TX/RX]にタッチ → [3 オーディオ]にタッチ → [5 VOX 設定]にタッチ
- 詳細については、“VOX(音声自動送信)機能”(取扱説明書<基本編>)を参照してください。

## 6 録音設定

1. [F MENU]キー長押し → [TX/RX]にタッチ → [3 オーディオ]にタッチ → [6 録音設定]にタッチ
- 詳細については、“音声録音機能を使う”(取扱説明書<基本編>)を参照してください。

# MEMORYメニュー

## 1 バンクリンク 設定

複数のメモリーバンクをリンクさせて、一つのメモリーバンクのように使えるように設定できます。

1. [F MENU]キー長押し → [MEMORY]にタッチ → [1 バンクリンク 設定]にタッチ
2. DIALツマミをまわしてリンクするメモリーバンクを選択し、[F MENU]キーを押します。  
チェックボックスにチェックが付きます。
3. 手順2を繰り返し、バンクリンクするバンク(バンク1～バンク24)を設定します。

## 2 バンクネーム 設定

1. [F MENU]キー長押し → [MEMORY]にタッチ → [2 バンクネーム 設定]にタッチ  
メモリーバンクの名前を変更できます。(最大半角16文字(全角8文字))  
詳細については、“メモリーバンクに名前をつける”(19ページ)を参照してください。

## 3 メモリーネーム 設定

1. [F MENU]キー長押し → [MEMORY]にタッチ → [3 メモリーネーム 設定]にタッチ  
保存されているメモリーチャンネルやホームチャンネルに、タグ(名前)がつけられます。  
詳細については、“メモリータグを編集する”(取扱説明書<基本編>)を参照してください。

## 4 メモリー プロテクト

周波数などをメモリーに書き込めないように設定できます。

1. [F MENU]キー長押し → [MEMORY]にタッチ → [4 メモリー プロテクト]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、設定を選択します。

OFF	メモリーの書き込みができます。
ON	メモリーの書き込みが禁止されます。(消去はできます。)

工場出荷設定時: OFF

## 5 メモリー スキップ

メモリースキャン時にスキップするメモリーチャンネルをスキップメモリーまたは指定したメモリーチャンネルだけをスキャンする指定メモリーを設定します。

1. [F MENU]キー長押し → [MEMORY]にタッチ → [5 メモリー スキップ]にタッチ  
詳細については、“スキップメモリー／指定メモリーを設定する”(21ページ)を参照してください。

## 6 メモリー 書き込み方法

メモリーを書き込み操作時に、最初に自動的に選択される空きメモリーチャンネル番号の選択方法を設定します。

1. [F MENU]キー長押し → [MEMORY]にタッチ → [6 メモリー 書き込み方法]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、設定を選択します。

NEXT	前回使ったメモリーチャンネル以降の空いている最も小さいメモリーチャンネル番号が選択されます。
LOWER	空いているメモリーチャンネルの中で最も小さいメモリーチャンネル番号が選択されます。

工場出荷設定時: NEXT

# SIGNALINGメニュー

---

## 1 ベル 設定

---

1. [F MENU]キー長押し → [SIGNALING]にタッチ → [1 ベル 設定]にタッチ

詳細については、“相手からの呼び出しを知らせるベル機能”（15ページ）を参照してください。

## 2 DCS コード

---

1. [F MENU]キー長押し → [SIGNALING]にタッチ → [2 DCS コード]にタッチ

2. DIALツマミをまわして、023～754の104種類の中からDCSコードを選択します。  
詳細については、“デジタルコードスケルチ(DCS)機能”（11ページ）を参照してください。

## 3 DCS 位相反転

---

DCS(デジタルコードスケルチ)を使用する際に、位相を反転したDCSコードが受信または送信できます。

1. [F MENU]キー長押し → [SIGNALING]にタッチ → [3 DCS 位相反転]にタッチ

2. DIALツマミをまわし、送受信したい位相の組み合わせを選択します。

受信	同相 / 両相 / 反転位相
送信	同相 / 反転位相

工場出荷設定時: 受信: 同相、送信: 同相

## 4 DTMF 動作設定

---

1. [F MENU]キー長押し → [SIGNALING]にタッチ → [4 DTMF 動作設定]にタッチ

詳細については、“DTMFコードの送出方法を変更する”（33ページ）を参照してください。

## 5 DTMF メモリー 設定

---

1. [F MENU]キー長押し → [SIGNALING]にタッチ → [5 DTMF メモリー 設定]にタッチ

フォーンパッチから公衆回線に接続するときに使う電話番号などを、最大16桁のDTMFコードを最大10件までメモリーできます。

詳細については、“DTMFメモリーを使ってDTMFコードを自動で送出する”（34ページ）を参照してください。

## 6 ページャー 動作設定

---

1. [F MENU]キー長押し → [SIGNALING]にタッチ → [6 ページャー 動作設定]にタッチ

それぞれ個別のコードを設定し、特定の局だけを呼び出すことができます。

詳細については、“ページャー(EPCS)機能”（13ページ）を参照してください。

## 7 私鉄空線周波数

---

300Hz～3000Hz空線信号音の周波数を100Hzステップで設定できます。

1. [F MENU]キー長押し → [SIGNALING]にタッチ → [7 私鉄空線周波数]にタッチ

2. DIALツマミをまわし、空線信号音の周波数を選択します。

300Hz～3000Hzの範囲で、100Hzステップで選択できます。

工場出荷設定時: 1600Hz

## 8 スケルチ レベル

耳障りなノイズを消すスケルチのレベルを設定します。この設定はSQLキーを押してからDIALツマミをまわして設定するスケルチ レベルと同じです。

1. [F MENU]キー長押し → **[SIGNALING]**にタッチ → **[8 スケルチ レベル]**にタッチ
2. DIALツマミをまわし、スケルチレベルを選択します。  
レベル0～レベル15  
レベル0～レベル8 (AMラジオバンド)  
レベル0～レベル8 (FMラジオバンド)  
工場出荷設定時: レベル1、レベル2(FMラジオバンド)

## 9 Sメーター スケルチ

設定したSメータのレベル以上の強さの信号を受信したときだけ音声を出力するように設定します。AバンドとBバンドでそれぞれ各バンド個別に設定できます。

1. Sメータースケルチを設定するバンドを操作バンドにします。
2. [F MENU]キー長押し → **[SIGNALING]**にタッチ → **[9 Sメーター スケルチ]**にタッチ
3. DIALツマミをまわして設定します。

OFF	Sメータースケルチ機能がオフになります。
レベル 1～レベル10	Sメーターが“1”～“10”以上振れる強さの信号を受信したときに音声を出力します。

工場出荷設定時: OFF

## 10 スケルチ 拡張機能

送信と受信で異なるスケルチタイプの組み合わせ(“D CD”、“TONE-DCS”、“D CD-TONE SQL”)が選択できるように設定します。

1. [F MENU]キー長押し → **[SIGNALING]**にタッチ → **[10 スケルチ 拡張機能]**にタッチ
2. DIALツマミをまわし、設定を選択します。

ON	設定できるスケルチタイプが拡張されて、“D CD”、“TONE-DCS”、“D CD-TONE SQL”が選択できるようになります。
OFF	設定できるスケルチタイプを拡張しません。

工場出荷設定時: OFF

## 11 スケルチ タイプ

アナログFMモードでトーンやDCSなどが一致した信号を受信したときだけスケルチが開いて受信音が聞こえるように設定できます。

詳細については、“**アナログFMモードのスケルチの種類を選択する**”(9ページ)を参照してください。

## 12 TSQ 周波数

67.0Hz～254.1Hzの50種類の中からトーン周波数を設定します。

詳細については、“**トーン周波数を設定する**”(10ページ)を参照してください。

## 13 TONE サーチ 設定

トーンサーチ中の音声をミュート、またはトーンサーチの動作スピードを変更します。

1. [F MENU]キー長押し → [SIGNALING]にタッチ → [13 TONE サーチ 設定]にタッチ
2. DIALツマミをまわして“MUTE”を選択し、[F MENU]キーを押します。
3. DIALツマミをまわし、設定を選択します。

ON	トーンサーチ中の音声をミュートします。
OFF	トーンサーチ中の音声をミュートしません。

工場出荷設定時: ON

4. [BACK]キーを押します。
5. DIALツマミをまわして“SPEED”を選択し、[F MENU]キーを押します。
6. DIALツマミをまわし、設定を選択します。

高速	トーンサーチの動作スピードが速くなります。
低速	トーンサーチの動作スピードが遅くなります。

工場出荷設定時: 高速

## SCANメニュー

### 1 DW インターバル

デュアルレシーブ(DW)中に、プライオリティチャンネルの信号を確認する時間間隔を設定します。

1. [F MENU]キー長押し → [SCAN]にタッチ → [1 DW インターバル]にタッチ
2. DIALツマミをまわして、0.1秒～10秒の間で信号を確認する時間間隔を選択します。

工場出荷設定時: 5.0秒

### 2 SCAN ランプ

スキャン中に信号を受信してスキャンが停止したときに、ディスプレイとキーのバックライトが点灯するかどうかを設定します。

1. [F MENU]キー長押し → [SCAN]にタッチ → [2 SCAN ランプ]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、設定を選択します。

ON	スキャンが停止するとバックライトが点灯します。
OFF	スキャンが停止してもバックライトは点灯しません。

工場出荷設定時: ON

### 3 SCAN リスタート

スキャン実行中に信号を受信した後、スキャンを再開するまでの時間を設定します。

1. [F MENU]キー長押し → [SCAN]にタッチ → [3 SCAN リスタート]にタッチ
2. DIALツマミをまわして、0.1秒～10秒の間でスキャンを再開するまでの時間を選択します。

工場出荷設定時: 2.0秒

## 4 SCAN RESUME

スキャンが一時停止したときの動作を設定します。

詳細については、“スキャン停止時の動作を設定する”（取扱説明書<基本編>）を参照してください。

## 5 SCAN 帯域設定

VFOモード、およびメモリーモードでスキャンする周波数の範囲を設定します。

1. [F MENU]キー長押し → [SCAN]にタッチ → [5 SCAN 帯域設定]にタッチ
2. DIALツマミをまわして“VFO”を選択し、[F MENU]キーを押します。
3. DIALツマミをまわして、設定を選択します。

### VFO (VFOスキャン)

ALL	1.8MHz~999.995MHz周波数範囲の全バンド <sup>**</sup> をスキャンします。 ※：“22 BAND 選択設定”で選択できないようにしたバンドを除きます。
BAND	現在の周波数のバンド内だけをスキャンします。

工場出荷設定時: ALL

4. [BACK]キーを押します。
5. DIALツマミをまわして“MEMORY”を選択し、[F MENU]キーを押します。
6. DIALツマミをまわして、設定を選択します。

### MEMORY (MEMORYスキャン)

ALL CH	現在のメモリーチャンネルから、すべてのメモリーチャンネル(1~900)をスキャンします。
BAND	現在メモリーチャンネルと同じ周波数帯 <sup>**1</sup> の周波数が書き込まれているメモリーチャンネルだけをスキャンします。 指定メモリースキャン場合、同じ周波数帯 <sup>**1</sup> の周波数が書き込まれている“指定メモリー”に設定したチャンネルのみをスキャンします。

工場出荷設定時: ALL CH

※1:周波数帯(バンド)と受信周波数の関係は“周波数帯(バンド)を選択する”（取扱説明書<基本編>）を参照してください。

7. [BACK]キーを押します。
8. DIALツマミをまわして“BANK LINK”を選択し、[F MENU]キーを押します。
9. DIALツマミをまわして、設定を選択します。

### BANK LINK (BANK LINKスキャン)

ON	バンクリンク機能がオンになり、メモリバンクスキャン時にバンクリンク設定している全てのバンク内のメモリーチャンネルをスキャンします。 バンクリンク設定は[F MENU]キー長押し → [MEMORY] → [1 バンクリンク設定] (52ページ)で設定します。
OFF	バンクリンク機能がオフになり、メモリバンクスキャン時に同一バンク内のメモリーチャンネルだけをスキャンします。

工場出荷設定時: ON

## 6 プライオリティ リバート

デュアルレシーブ中に、PTTスイッチを押すだけでプライオリティチャンネルに切り替わって送信して、その後5秒間受信するとデュアルレシーブを再開するように設定できます。

1. [F MENU]キー長押し → [SCAN]にタッチ → [6 プライオリティ リバート]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、設定を選択します。

OFF	プライオリティチャンネルで一時停止中にPTTスイッチを押すとデュアルレシーブ動作を解除して、その周波数で送信します。(デュアルレシーブ動作は再開しません。)プライオリティチャンネルで一時停止中ではないときにPTTスイッチを押すと、その周波数で送信して、デュアルレシーブ動作は継続します。
ON	PTTスイッチを押すと、常にプライオリティチャンネルで送信します。PTTスイッチを放すとプライオリティチャンネルを約5秒間受信してから、その後デュアルレシーブ動作を再開します。

工場出荷設定時: OFF

## GMメニュー

各項目の設定については、取扱説明書<GM機能編>を参照してください。取扱説明書<GM機能編>は当社ウェブサイトからダウンロードすることができます。

## WIRES-Xメニュー

各項目の設定については、取扱説明書<WIRES-X編>を参照してください。取扱説明書<WIRES-X編>は当社ウェブサイトからダウンロードすることができます。

## CONFIGメニュー

### 1 オートパワーオフ 設定

一定時間操作しなかった場合に、自動的に本機の電源を切ることができます。

1. [F MENU]キー長押し → [CONFIG]にタッチ → [1 オートパワーオフ 設定]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、設定を選択します。

OFF	自動的に電源を切りません。
30分～12時間00分	設定時間、操作をしなかった場合に自動的に電源を切ります。

工場出荷設定時: OFF



- オートパワーオフ機能設定中は、画面に🔌アイコンが表示されます。
- 一度設定すると手順2で“OFF”を選択するまで設定は解除されません(次回に電源をオンにした時にもオートパワーオフ機能は有効です)。

## 2 受信CH送信ロック

---

信号を受信中に、誤って送信しないように送信をロックします。

1. [F MENU]キー長押し → [CONFIG]にタッチ → [2 受信CH送信ロック]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、設定を選択します。

OFF	受信中でも送信できます。
ON	受信中は送信できません。

工場出荷設定時: OFF

## 3 BEEP

---

キー操作時、およびスキャン時にビープ音を鳴らすかどうかを設定します。また、バンドエッジの通過またはCH1の通過を知らせるビープ音を鳴らすかどうかを設定します。

1. [F MENU]キー長押し → [CONFIG]にタッチ → [3 BEEP]にタッチ
2. DIALツマミをまわして“SELECT”を選択し、[F MENU]キーを押します。
3. DIALツマミをまわして設定を選択します。

### SELECT

KEY&SCAN	キー操作時とスキャン停止時にビープ音が鳴ります。
KEY	キー操作時にビープ音が鳴ります。
OFF	ビープ音は鳴りません。

工場出荷設定時: KEY&SCAN

4. [BACK]キーを押します。
5. DIALツマミをまわして“EDGE”を選択し、[F MENU]キーを押します。
6. DIALツマミをまわして設定を選択します。

### EDGE

OFF	バンドエッジ/CH1通過時、ビープ音は鳴りません。
ON	バンドエッジ/CH1通過時、ビープ音が鳴ります。

工場出荷設定時: OFF

## 4 BEEP レベル

---

キー操作時、およびスキャン時にビープ音を設定します。

1. [F MENU]キー長押し → [CONFIG]にタッチ → [4 BEEP レベル]にタッチ
2. DIALツマミをまわして操作音の音量を選択します。

HIGH / LOW

工場出荷設定時: LOW

※ビープ音を鳴らしたくないときは、“3 BEEP”の“SELECT”で“OFF”に設定します。

## 5 BUSY LED

BUSY LEDを点灯しないよう設定にできます。

1. [F MENU]キー長押し → [CONFIG]にタッチ → [5 BUSY LED]にタッチ
2. DIALツマミをまわして“A BAND”、“B BAND”、“RADIO”のいずれかを選択し、[F MENU]キーを押します。
3. DIALツマミをまわし、設定を選択します。

ON	BUSY LEDが点灯します。
OFF	BUSY LEDは点灯しません。

工場出荷設定時: ON

4. [BACK]キーを押します。
5. 他のバンドも設定する場合は、手順2～4を繰り返します。

## 6 クロック タイプ

マイコンのクロック信号を、高周波による内部スプリアスとして受信しないように設定します。通常は“A”に設定したままご使用ください。

1. [F MENU]キー長押し → [CONFIG]にタッチ → [6 クロック タイプ]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、設定を選択します。

A	クロックシフト機能が周波数によって自動的にON/OFFします。
B	常にクロックシフト機能を動作させます。

工場出荷設定時: A

## 7 GPS ログインターバル

GPS位置情報(移動軌跡)をmicroSDメモ리카ードに記録する時間の間隔を設定します。

1. [F MENU]キー長押し → [CONFIG]にタッチ → [7 GPS ログインターバル]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、次のいずれかの時間間隔を選択します。

**OFF**/ 1秒/ 2秒/ 5秒/ 10秒/ 30秒/ 60秒

工場出荷設定時: OFF

OFFを選択するとGPS位置情報(移動軌跡)を記録しません。

詳細については、“GPS情報を記録する(GPSログ機能)”(28ページ)を参照してください。

## 8 HOME VFO

ホームチャンネル呼出中にDIALツマミをまわした時に周波数などの情報をVFOに転送するかどうかを設定します。

1. [F MENU]キー長押し → [CONFIG]にタッチ → [8 HOME VFO]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、設定を選択します。

許可	ホームチャンネルでDIALツマミをまわすと、ホームチャンネルの周波数などの情報をVFOに転送してVFOモードになります。
禁止	ホームチャンネルの周波数は、VFOに転送されません。

工場出荷設定時: 許可

## 9 ロックモード

電源スイッチを押してロックしたときの、ロックするキーやツマミを設定します。

1. [F MENU]キー長押し → [CONFIG]にタッチ → [9 ロックモード]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、ロックする対象を選択します。

KEY&DIAL	フロントパネルのキーとDIALツマミをロックします。
PTT	PTTスイッチをロックします。
KEY&PTT	フロントパネルのキーとPTTスイッチをロックします。
DIAL&PTT	DIALツマミとPTTスイッチをロックします。
ALL	フロントパネルのキー、DIALツマミ、PTTスイッチをロックします。
KEY	フロントパネルのキーをロックします。
DIAL	DIALツマミをロックします。

工場出荷設定時: KEY & DIAL

## 10 モニター/T-CALL

側面のMONI/T-CALLキーを押したときの機能を設定します。

1. [F MENU]キー長押し → [CONFIG]にタッチ → [10 モニター/T-CALL]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、設定を選択します。

MONI	押している間Aバンド/Bバンド両方のスケルチがオープンします。
T-CALL	押している間トーンコールを送信します。

工場出荷設定時: MONI

## 11 TIMER設定

指定した時間に本機の電源を自動的にオンまたはオフすることができます。

1. [F MENU]キー長押し → [CONFIG]にタッチ → [11 TIMER設定]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、設定する項目を選択します。

POWER ON	タイマー機能で電源をオンにする場合に選択します。
POWER OFF	タイマー機能で電源をオフにする場合に選択します。

3. [F MENU]キーを押します。
4. DIALツマミをまわして時間を設定し、[F MENU]キーを押します。
5. DIALツマミをまわして分を設定し、[F MENU]キーを押します。
6. [TIMER ON]または[TIMER OFF]にタッチし、タイマー機能のON/OFFを設定します。
7. 他の項目を設定する場合には、[BACK]キーを押してから手順2～6を繰り返します。

工場出荷設定時: タイマー機能OFF

## 12 パスワード 設定

パスワード(4桁)を設定して、本機の第三者による無断使用を防止できます。パスワードを設定した場合、正しいパスワードを入力しないと本機を使用できません。

1. [F MENU]キー長押し → [CONFIG]にタッチ → [12 パスワード 設定]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、「ON」を選択します。

ON	パスワード機能を有効にします。
OFF	パスワード機能を無効にします。

工場出荷設定時: OFF

3. [F MENU]キーを押します。
4. パスワード4桁(0~9、A~D、\*、#)を入力して、[F MENU]キーを押します。



- パスワード機能を解除するには、手順3で「OFF」を選択します。
- オンタイマー機能が設定されている場合は、パスワード機能が無効になります。

### ● パスワードを入力して本機を使用する

1. パスワード機能をONに設定した状態で、電源をオンにするとパスワード入力画面が表示されます。正しいパスワードを入力しないと、本機を使用することができません。
2. 画面にタッチしてパスワードを入力します。
3. 正しいパスワードを入力すると、通常画面が表示されます。  
間違ったパスワードを入力した場合は、自動的に電源がオフになります。



- 登録したパスワードを忘れた場合は、オールリセットを実行すると電源をオンすることができます。
- オールリセットを実行すると、登録したメモリー内容や各種設定値などすべての情報がリセット(初期化)されますので、パスワードをメモしておくことをお勧めします。

## 13 PTT ディレイ

PTTスイッチを押してから電波を送信するまでの時間を設定します。

1. [F MENU]キー長押し → [CONFIG]にタッチ → [13 PTT ディレイ]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、次のいずれかの時間を選択します。

OFF / 20 ms / 50 ms / 100 ms / 200 ms

工場出荷設定時: OFF

## 14 RPT ARS

ARS(オートレピーターシフト)機能を使用するかどうかを設定します。

1. [F MENU]キー長押し → [CONFIG]にタッチ → [14 RPT ARS]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、設定を選択します。

ON	ARSが機能します。
OFF	ARSが機能しません。

工場出荷設定時: ON

## 15 RPT シフト

---

レピータ機能のシフト方向を設定します。

1. [F MENU]キー長押し → [CONFIG]にタッチ → [15 RPT シフト]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、設定を選択します。

SIMPLEX	シフトしません。
-RPT	周波数の低い方向へシフトします。
+RPT	周波数の高い方向へシフトします。

工場出荷時設定:SIMPLEX、操作バンドの周波数が439.000~439.995MHzの場合は-RPT)

※ARS機能がオンの場合、430MHz帯で周波数を変更すると、レピータシフトが自動で設定されます。

## 16 RPT シフト 周波数

---

レピータ機能のシフト幅が設定できます。

1. [F MENU]キー長押し → [CONFIG]にタッチ → [16 RPTシフト周波数]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、シフト幅を選択します。
3. 0.0000MHz~150.000MHzの間で、0.05MHz間隔で選択できます。

工場出荷時設定:SIMPLEX、操作バンドの周波数が439.000~439.995MHzの場合は5.000MHz)

※ARS機能がオンの場合、430MHz帯で周波数を変更すると自動で“5.000MHz”に設定されます。

## 17 受信 セーブ 設定

---

信号を受信していないときに、本機の消費電流を少なくするために設定した時間間隔で受信動作をオフにします。

1. [F MENU]キー長押し → [CONFIG]にタッチ → [17 受信 セーブ 設定]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、自動的に受信動作をオフにする時間を選択します。

0.05秒(1:1) / 0.1秒(1:2) / 0.2秒(1:4) / 0.5秒(1:10) / 1.0秒(1:20) / 2.0秒(1:40) / 5.0秒(1:100) / 10.0秒(1:200) / 20.0秒(1:400) / OFF

OFFを選択すると受信セーブ機能は動作しません。

工場出荷設定時: 0.05秒(1:1)

## 18 周波数ステップ

---

周波数ステップを設定できます。

1. [F MENU]キー長押し → [CONFIG]にタッチ → [18 周波数ステップ]にタッチ

詳細については、“周波数ステップを変更する”(取扱説明書<基本編>)を参照してください。

## 19 日付時刻設定

---

本機に内蔵されている時計の日時と時報機能の設定をします。

工場出荷時設定では、GPS信号を測位すると自動で日時が設定されますので、その場合は手動での設定は不要です。

1. [F MENU]キー長押し → [CONFIG]にタッチ → [19 日付時刻設定]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、設定を選択します。
3. [F MENU]キーを押すと、年→月→日→時→分→年→…と設定項目が変わります。  
時報機能をオンにするには[SIGNAL ON]にタッチします。
4. 設定が完了したら[OK]にタッチします。

## 20 TOT

---

一定時間連続で送信した場合、自動で受信状態に戻るよう設定します。誤操作などでの不要な送信やバッテリーの消耗が防げます(TOT(タイムアウトタイマー)機能)。

1. [F MENU]キー長押し → [CONFIG]にタッチ → [20 TOT]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、自動的に受信状態にする時間を選択します。  
OFF/30秒～10分00秒  
工場出荷設定時: OFF



- ・タイムアウトタイマーが機能しているときは、設定した時間に近づくとピープ音が鳴り、約10秒後に受信状態に戻ります。
- ・タイムアウトタイマーの設定は、上記の手順2で“OFF”に設定するまで保持されます。

## 21 VFO MODE

---

VFOモード時にDIALツマミで設定できる周波数範囲を設定します。

1. [F MENU]キー長押し → [CONFIG]にタッチ → [21 VFO MODE]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、設定を選択します。

ALL	1.8MHz～999.995MHz周波数範囲の全バンド <sup>*</sup> をスキャンします。 ※:セットアップメニューの“22 BAND 選択設定”で選択できないようにしたバンドを除きます。
BAND	現在のバンド内の周波数範囲のみ設定できます。

工場出荷設定時: ALL

## 22 BAND 選択設定

AバンドとBバンドで個別に、選択できるバンド(周波数帯)を変更することができます。あらかじめ保存したメモリーチャンネルはこの設定とは関係なく呼び出すことができます。

1. [A/B]キーを押して設定するAバンドまたはBバンドを操作バンドにします。
2. [F MENU]キー長押し → [CONFIG]にタッチ → [22 BAND 選択設定]にタッチ
3. DIALツマミをまわしてバンドを選択して、[F MENU]キーを押してチェックマークを外します。チェックマークを外したバンド(周波数帯)はBANDキーやDIALツマミ操作、VFOスキャンなどで選択できなくなります。

AIR:

VHF:

UHF:

OTHER:  (50MHz帯<sup>\*2</sup>、VHF(1)、VHF(2)、UHF(1)、UHF(2)<sup>\*2</sup>を含みます。)

SW<sup>\*1</sup>:

AM<sup>\*1</sup>:

FM<sup>\*1</sup>:

工場出荷設定時: 全てのバンドのチェックマークが付いています。

注意: 全てのバンドのチェックマークを外すことはできません。

※1: Aバンドだけで設定できます。

※2: Bバンドでは含まれません。

## 23 ダイアルノブ入れ換え

1. [F MENU]キー長押し → [CONFIG]にタッチ → [23 ダイアルノブ入れ換え]にタッチ
2. [CHANGE]にタッチするたびに、VOLツマミとDIALツマミの機能が入れ換わります。  
工場出荷時設定: 上側のツマミ: DIALツマミ、下側のツマミ: VOLツマミ

## APRSメニュー

各項目の設定については、取扱説明書<APRS編>を参照してください(当社ウェブサイトからダウンロードしてください)。

## SD CARDメニュー

### 1 バックアップ

本機のすべての設定情報をmicroSDメモリーカードに保存します。また、microSDメモリーカードに保存した設定情報を読み出します。

1. [F MENU]キー長押し → [SD CARD]にタッチ → [1 バックアップ]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、実行する操作を選択します。

SDに書き込み	本機の設定をmicroSDメモリーカードに保存します。
SDから読み込み	microSDメモリーカードに保存した内容を、本機に読み込みます。

3. [F MENU]キーを押します。
4. 確認画面が表示されますので、[OK]に2回タッチします。
5. “SDに書き込み”を選択した場合、書き込みが終了するとビーブ音が鳴って、“COMPLETED”と表示されます。

“SDから読み込み”を選択した場合は、読み込みが終了するとビーブ音が鳴って、microSDメモリーカードから読み込んだ設定情報を本機に設定して再起動します。

## 2 メモリー チャンネル

---

本機に保存されているメモリーチャンネルの内容をmicroSDメモリーカードに保存します。または、microSDメモリーカードに保存されている内容を読み込みます。

1. [F MENU]キー長押し → [SD CARD]にタッチ → [2 メモリー チャンネル]にタッチ
2. DIALツマミをまわし、実行する操作を選択します。

SDに書き込み	本機に登録されたメモリーチャンネルの内容を、microSDメモリーカードに保存します。
SDから読み込み	microSDメモリーカードに保存したメモリーチャンネルの内容を、本機に読み込みます。

3. [F MENU]キーを押します。
4. 確認画面が表示されますので、[OK]に2回タッチします。
5. “SDに書き込み”を選択した場合、書き込みが終了するとビーブ音が鳴り、“COMPLETED”と表示されます。  
“SDから読み込み”を選択した場合、読み込みが終了するとビーブ音が鳴り、microSDメモリーカードからメモリー内容を本機に読み込んで再起動します。

## 3 メモリー 情報

---

microSDメモリーカードのメモリーの使用状況を表示します。

1. [F MENU]キー長押し → [SD CARD]にタッチ → [3 メモリー 情報]にタッチ  
使用容量の目安のバーグラフと下記の情報を表示します。

使用領域 : xx,xxx MB

空き容量 : xx,xxx MB

容量 : xx,xxx MB

## 4 フォーマット

---

本機で初めて使うmicroSDメモリーカードを初期化します。

microSDメモリーカード内のすべてのデータが消去されますのでご注意ください。

1. [F MENU]キー長押し → [SD CARD]にタッチ → [4 フォーマット]にタッチ  
詳細については、“microSDメモリーカードを初期化する”(取扱説明書<基本編>)を参照してください。

## OPTIONメニュー

---

### 1 USB カメラ

---

オプションのカメラ付きスピーカーマイク(MH-85A11U)で撮影する画像の解像度や画質を設定します。

1. [F MENU]キー長押し → [OPTION]にタッチ → [1 USB カメラ]にタッチ
2. DIALツマミをまわして“サイズ”を選択し、[F MENU]キーを押します。
3. DIALツマミをまわし、画像サイズを選択します。  
160\*120 / 320\*240
4. [BACK]キーを押します。
5. DIALツマミをまわして“画質”を選択し、[F MENU]キーを押します。

6. DIALツマミをまわし、画質を選択します。  
LOW / NORMAL / HIGH
7. [BACK]キーを押します。
8. DIALツマミをまわして“SP SEL”を選択して、[F MENU]キーを押します。
9. DIALツマミをまわして、ビープ音や受信音を出力させるスピーカーを選択します。  
CAMERA : MH-85A11Uのスピーカー  
INT SP : FT5D内蔵スピーカー



- 画像サイズを大きく設定した場合、および画像品質を高画質に設定した場合、データ送信に必要な時間が長くなります。
- 送信時間は、画像の容量によって異なります。

## 2 Bluetooth

Bluetooth機能の設定やBluetoothヘッドセットとの接続をします。  
詳細については、“Bluetooth<sup>®</sup>機能”（取扱説明書〈基本編〉）を参照してください。

## 3 Bluetooth デバイスリスト

登録済みまたはサーチして見つかったBluetooth機器のリストを表示します。Bluetoothヘッドセットを選択して接続することができます。  
詳細については、“Bluetooth<sup>®</sup>機能”（取扱説明書〈基本編〉）を参照してください。

## 4 Bluetooth オーディオ

Bluetoothヘッドセット接続中に、本機のスピーカーから同時に音を鳴らすかどうかを設定することができます。  
詳細については、“Bluetooth<sup>®</sup>機能”（取扱説明書〈基本編〉）を参照してください。

## CALLSIGNメニュー

1. [F MENU]キー長押し → [CALLSIGN]にタッチ
2. アルファベット入力画面とテンキー入力画面を使って、コールサインを入力します
  - アルファベット入力画面で【数字記号】にタッチすると、テンキー入力画面に切り替わります。
  - テンキー入力画面で【ABC】にタッチすると、アルファベット入力画面に切り替わります。

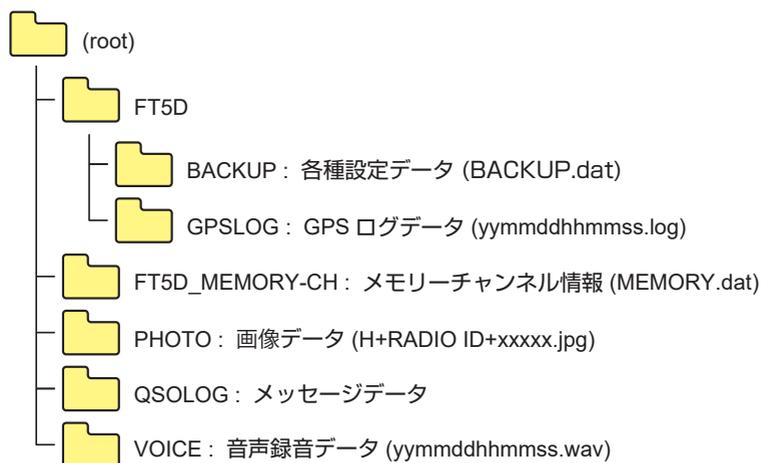


- コールサインは最大10文字まで入力できます。
- コールサインに入力できる文字は、数字の“0~9”と大文字のアルファベット“A~Z”、記号の“-”と“/”です。

3. コールサインの入力が終わったら、PTTスイッチを押します。

## microSDメモリーカードのフォルダ構成

市販のmicroSDメモリーカードを本機に挿入して、さまざまなデータを保存することができます。各機能のデータは下記のフォルダに保存されます。



ファイル名の「yymmddhhmmss」部分は、記録時または記録開始時の年(yy)、月(mm)、日(dd)、時(hh)、分(mm)、秒(ss)を表しています。

## プリセットレシーバーのチャンネルリスト

プリセットレシーバー機能では、さまざまな放送局や無線局など530チャンネルの周波数とメモリータグ(名前)が、以下の8つのカテゴリーに分けてプリセットされています。

- AM・FMラジオ (227チャンネル)
- 特定小電力 (20チャンネル)
- 短波放送 (89チャンネル)
- ワイヤレスC (13チャンネル)
- 救急無線 (20チャンネル)
- 消防無線 (85チャンネル)
- 鉄道無線 (19チャンネル)
- 国際VHF (57チャンネル)

### プリセットレシーバーを呼び出す

1. [A/B]キーを押してAバンドを操作バンドにします。
2. [F MENU]キーを押す → [P.RCVR]にタッチ  
[P.RCVR]が表示されていないときは、[BACK←]にタッチして[P.RCVR]を表示させてタッチします。  
前回使用していたプリセットレシーバーのバンドが呼び出されます。
3. [BAND]キーを押して、プリセットレシーバーのバンドを選択します。  
… → AM・FMラジオ → 特定小電力 → 短波放送 → ワイヤレスC → 救急無線 → 消防無線 → 鉄道無線 → 国際VHF → …
4. DIALツマミをまわして、受信する周波数を選択します。



### ● 通常モードに戻る

1. [F MENU]キーを押す → [P.RCVR]にタッチ



電波法第59条で「特定の相手方に対して行われる無線通信を傍受して、その存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない」と定められています。

他人の会話を聞いて、これを漏らしたり窃用することは法律で禁止されていますのでご注意ください。

## AM・FMラジオ (227チャンネル)

日本各地の主なAMラジオ/FMラジオ放送局が、0エリアから9エリアに分けて登録されています。

	CH番号	周波数 (MHz)	MODE	名称	地方		CH番号	周波数 (MHz)	MODE	名称	地方					
8 エリア (北海道)	191	0.567	AM	NHK第1	札幌	0 エリア (信越)	220	1.116	AM	BSNラジオ	新潟					
	192	0.747	AM	NHK第2			221	77.500	WFM	FM新潟						
	193	1.287	AM	HBCラジオ			222	82.300	WFM	NHK新潟						
	194	1.440	AM	STVラジオ			223	92.700	WFM	BSNラジオ(FM補完)						
	195	80.400	WFM	AIR-G'札幌			224	1.098	AM	SBCラジオ	長野					
	196	82.500	WFM	ノースウェーブ			225	79.700	WFM	FM長野						
	197	85.200	WFM	NHK札幌			226	84.000	WFM	NHK長野						
	198	90.400	WFM	STVラジオ(FM補完)			227	92.200	WFM	SBCラジオ(FM補完)	9 エリア (北陸)	208	0.738	AM	KNBラジオ	富山
	199	91.500	WFM	HBCラジオ(FM補完)			209	82.700	WFM	FMとやま						
	200	87.000	WFM	NHK函館			210	81.500	WFM	NHK富山						
	201	88.800	WFM	AIR-G' 函館	211	90.200	WFM	KNBラジオ(FM補完)								
	202	84.500	WFM	NHK小樽	212	0.864	AM	FBCラジオ	福井							
	203	88.000	WFM	NHK室蘭	213	76.100	WFM	FM福井								
	204	85.800	WFM	NHK旭川	214	83.400	WFM	NHK福井								
	205	87.500	WFM	NHK帯広	215	94.600	WFM	FBCラジオ(FM補完)	石川							
	206	86.000	WFM	NHK北見	216	1.107	AM	MROラジオ								
	207	88.500	WFM	NHK釧路	217	80.500	WFM	FM石川								
	7 エリア (東北)	165	1.233	AM	RABラジオ	青森	218	82.200		WFM	NHK金沢					
		166	80.000	WFM	AFB		219	94.000		WFM	MROラジオ(FM補完)					
		167	86.000	WFM	NHK青森		岩手	170	76.100	WFM	FM岩手					
168		91.700	WFM	RABラジオ(FM補完)	171				83.100	WFM	NHK盛岡					
169		0.684	AM	IBCラジオ	172				90.600	WFM	IBCラジオ(FM補完)					
170		76.100	WFM	FM岩手	秋田	173			0.936	AM	ABSラジオ					
171		83.100	WFM	NHK盛岡		174	82.800	WFM	AFM							
172		90.600	WFM	IBCラジオ(FM補完)		175	86.700	WFM	NHK秋田							
173		0.936	AM	ABSラジオ	山形	176	90.100	WFM	ABSラジオ(FM補完)							
174		82.800	WFM	AFM		177	0.918	AM	YBCラジオ							
175		86.700	WFM	NHK秋田		178	80.400	WFM	BOY-FM							
176		90.100	WFM	ABSラジオ(FM補完)		179	82.100	WFM	NHK山形							
177		0.918	AM	YBCラジオ	宮城	180	92.400	WFM	YBCラジオ(FM補完)							
178		80.400	WFM	BOY-FM		181	0.891	AM	NHK第1仙台							
179		82.100	WFM	NHK山形		182	1.089	AM	NHK第2仙台							
180		92.400	WFM	YBCラジオ(FM補完)		183	1.260	AM	TBCラジオ							
181		0.891	AM	NHK第1仙台	福島	184	77.100	WFM	DATE-FM							
182		1.089	AM	NHK第2仙台		185	82.500	WFM	NHK仙台							
183		1.260	AM	TBCラジオ		186	93.500	WFM	TBCラジオ(FM補完)							
184	77.100	WFM	DATE-FM	187		1.458	AM	ラジオ福島								
185	82.500	WFM	NHK仙台	188		81.800	WFM	ふくしまFM								
186	93.500	WFM	TBCラジオ(FM補完)	189	85.300	WFM	NHK福島									
187	1.458	AM	ラジオ福島	190	90.800	WFM	ラジオ福島(FM補完)									
188	81.800	WFM	ふくしまFM													
189	85.300	WFM	NHK福島													
190	90.800	WFM	ラジオ福島(FM補完)													

	CH 番号	周波数 (MHz)	MODE	名称	地方	
1 エリア (関東)	1	0.594	AM	NHK第1	東京	
	2	0.693	AM	NHK第2		
	3	0.810	AM	AFN東京		
	4	0.954	AM	TBSラジオ		
	5	1.134	AM	文化放送		
	6	1.242	AM	ニッポン放送		
	7	1.422	AM	ラジオ日本		
	8	80.000	WFM	TOKYO FM		
	9	81.300	WFM	J-WAVE		
	10	82.500	WFM	NHK東京		
	11	89.700	WFM	インターFM		
	12	90.500	WFM	TBSラジオ(FM補完)		
	13	91.600	WFM	文化放送(FM補完)		
	14	93.000	WFM	ニッポン放送(FM補完)		
	15	92.400	WFM	ラジオ日本(FM補完)		
		16	81.900	WFM	NHK横浜	神奈川
		17	84.700	WFM	FMヨコハマ	
		18	78.000	WFM	BAY-FM	千葉
		19	80.700	WFM	NHK千葉	
		20	79.500	WFM	NACK-5	埼玉
		21	85.100	WFM	NHK浦和	
		22	1.197	AM	IBSラジオ	茨城
		23	83.200	WFM	NHK水戸	
		24	94.600	WFM	IBSラジオ	
		25	1.530	AM	CRTラジオ	栃木
		26	76.400	WFM	RADIO BERRY	
		27	80.300	WFM	NHK宇都宮	
		28	94.100	WFM	CRTラジオ(FM補完)	群馬
		29	81.600	WFM	NHK前橋	
		30	86.300	WFM	FM GUNMA	
		31	0.765	AM	YBSラジオ	山梨
		32	83.000	WFM	FM FUJI	
		33	85.600	WFM	NHK甲府	
		34	90.900	WFM	YBSラジオ(FM補完)	

	CH 番号	周波数 (MHz)	MODE	名称	地方	
2 エリア (東海)	35	1.404	AM	SBSラジオ	静岡	
	36	76.100	WFM	FM-HARO		
	37	79.200	WFM	K-MIX		
	38	88.800	WFM	NHK静岡		
	39	93.900	WFM	SBSラジオ(FM補完)		
		40	1.431	AM	ぎふチャン	岐阜
		41	80.000	WFM	RADIO-80	
		42	83.600	WFM	NHK岐阜	
		43	90.400	WFM	ぎふチャン(FM補完)	
		44	0.729	AM	NHK第1名古屋	
		45	0.909	AM	NHK第2名古屋	愛知
		46	1.053	AM	CBCラジオ	
		47	1.332	AM	東海ラジオ	
		48	77.800	WFM	ZIP-FM	
		49	79.500	WFM	RADIO-I	
	50	80.700	WFM	FM愛知	三重	
	51	82.500	WFM	NHK名古屋		
	52	92.900	WFM	東海ラジオ(FM補完)		
	53	93.700	WFM	CBCラジオ(FM補完)		
	54	78.900	WFM	FM三重		
	55	81.800	WFM	NHK津	3 エリア (近畿)	
	56	1.143	AM	KBS京都		京都
	57	82.800	WFM	NHK京都		
	58	84.200	WFM	NHK舞鶴		
	59	89.400	WFM	A-STATION		
	60	94.900	WFM	KBS京都(FM補完)		
	61	77.000	WFM	E-RADIO		滋賀
	62	84.000	WFM	NHK大津		
	63	87.400	WFM	NHK奈良		奈良
	64	0.666	AM	NHK第1		
	65	0.828	AM	NHK第2		大阪
	66	1.008	AM	ABCラジオ		
	67	1.179	AM	MBSラジオ		
	68	1.314	AM	ラジオ大阪		
	69	76.500	WFM	FM CO-CO-LO		
	70	80.200	WFM	FM-802		
	71	85.100	WFM	FM大阪		
	72	88.100	WFM	NHK大阪		
	73	90.600	WFM	MBSラジオ(FM補完)		
	74	91.900	WFM	ラジオ大阪(FM補完)		
	75	93.300	WFM	ABCラジオ(FM補完)		
	76	1.431	AM	WBS和歌山放送	和歌山	
	77	84.700	WFM	NHK和歌山		
	78	94.200	WFM	WBS和歌山放送(FM補完)		
	79	0.558	AM	ラジオ関西	兵庫	
	80	77.600	WFM	KISS-FM姫路		
	81	86.500	WFM	NHK神戸		
	82	89.900	WFM	KISS-FM神戸		
	83	91.100	WFM	ラジオ関西(FM補完)		

	CH 番号	周波数 (MHz)	MODE	名称	地方
4エリア(中) (国)	84	1.494	AM	RSKラジオ	岡山
	85	76.800	WFM	FM岡山	
	86	88.700	WFM	NHK岡山	
	87	91.400	WFM	RSKラジオ(FM補完)	島根
	88	1.431	AM	BSSラジオ島根	
	89	77.400	WFM	V-AIR島根	
	90	84.500	WFM	NHK松江	
	91	87.100	WFM	BSSラジオ島根(FM補完)	
	92	1.458	AM	KRYラジオ	山口
	93	79.200	WFM	FM山口	
	94	85.300	WFM	NHK山口	
	95	92.300	WFM	KRYラジオ	
	96	1.431	AM	BSSラジオ鳥取	
	97	78.800	WFM	V-AIR鳥取	
	98	85.800	WFM	NHK鳥取	
99	92.200	WFM	BSSラジオ鳥取(FM補完)	広島	
100	0.702	AM	NHK第2広島		
101	1.071	AM	NHK第1広島		
102	1.350	AM	RCCラジオ		
103	78.200	WFM	HFM		
104	88.300	WFM	NHK広島		
105	94.600	WFM	RCCラジオ(FM補完)		
5エリア(四) (国)	106	1.449	AM	RNCラジオ	香川
	107	78.600	WFM	FM香川	
	108	86.000	WFM	NHK高松	
	109	90.300	WFM	RNCラジオ(FM補完)	徳島
	110	1.269	AM	JRTラジオ	
	111	80.700	WFM	FM徳島	
	112	83.400	WFM	NHK徳島	
	113	93.000	WFM	JRTラジオ(FM補完)	
	114	1.116	AM	RNB南海放送	愛媛
	115	79.700	WFM	FM愛媛	
	116	87.700	WFM	NHK松山	
	117	91.700	WFM	RNB南海放送(FM補完)	
118	0.900	AM	RKCラジオ	高知	
119	81.600	WFM	FM高知		
120	87.500	WFM	NHK高知		
121	90.800	WFM	RKCラジオ(FM補完)		

	CH 番号	周波数 (MHz)	MODE	名称	地方
6エリア(九州)	122	0.612	AM	NHK第1福岡	福岡
	123	1.017	AM	NHK第2福岡	
	124	1.278	AM	RKBラジオ	
	125	1.413	AM	KBCラジオ	
	126	76.100	WFM	LOVE FM	
	127	78.700	WFM	CROSS FM	
	128	80.700	WFM	FM福岡	
	129	84.800	WFM	NHK福岡	
	130	90.200	WFM	KBCラジオ(FM補完)	
	131	91.000	WFM	RKBラジオ(FM補完)	
	132	1.458	AM	NBCラジオ佐賀	佐賀
	133	77.900	WFM	FM佐賀	
	134	81.600	WFM	NHK佐賀(FM補完)	
	135	93.500	WFM	NBCラジオ佐賀(FM補完)	
	136	1.233	AM	NBCラジオ	長崎
	137	79.500	WFM	SMILE FM	
	138	84.500	WFM	NHK長崎	
	139	86.000	WFM	NHK佐世保	
	140	92.600	WFM	NBCラジオ(FM補完)	熊本
	141	1.197	AM	RKKラジオ	
	142	77.400	WFM	FMK	
	143	85.400	WFM	NHK熊本	
	144	91.400	WFM	RKKラジオ	
	145	1.098	AM	OBSラジオ	
	146	88.000	WFM	FM大分	大分
	147	88.900	WFM	NHK大分	
	148	93.300	WFM	OBSラジオ(FM補完)	
	149	0.936	AM	MRTラジオ	宮崎
	150	83.200	WFM	JOY FM	
	151	86.200	WFM	NHK宮崎	
	152	90.400	WFM	MRTラジオ(FM補完)	
	153	1.107	AM	MBCラジオ	
	154	79.800	WFM	MYU FM	鹿児島
	155	85.600	WFM	NHK鹿児島	
156	92.800	WFM	MBCラジオ(FM補完)		
157	0.738	AM	RBCラジオ	沖縄	
158	0.864	AM	ROKラジオ沖縄		
159	87.300	WFM	FM沖縄		
160	88.100	WFM	NHK沖縄		
161	89.100	WFM	AFN沖縄		
162	92.100	WFM	RBCラジオ(FM補完)		
163	93.100	WFM	ROKラジオ沖縄(FM補完)		
164	87.000	WFM	NHK石垣		

## 特定小電力 (20チャンネル)

特定小電力トランシーバーで使われる周波数(20チャンネル)が登録されています。

チャンネル番号	周波数(MHz)	チャンネル番号	周波数(MHz)
1	422.0500	12	422.2000
2	422.0625	13	422.2125
3	422.0750	14	422.2250
4	422.0875	15	422.2375
5	422.1000	16	422.2500
6	422.1125	17	422.2625
7	422.1250	18	422.2750
8	422.1375	19	422.2875
9	422.1500	20	422.3000
10	422.1625	-	-
11	422.1750	-	-

チャンネル1～11は、主に業務用として使用され、チャンネル12～20は主にレジャー用として使用されています。

## 短波放送 (89チャンネル)

世界各地の主な短波帯放送局が登録されています。

CH番号	周波数(MHz)	名称	放送局名	CH番号	周波数(MHz)	名称	放送局名
1	6.030	VOA	アメリカ	25	7.170	TURKEY	トルコ
2	6.160	VOA	アメリカ	26	7.270	TURKEY	トルコ
3	9.760	VOA	アメリカ	27	9.560	TURKEY	トルコ
4	11.965	VOA	アメリカ	28	11.690	TURKEY	トルコ
5	9.555	CANADA	カナダ	29	9.660	VATICAN	バチカン
6	9.660	CANADA	カナダ	30	11.625	VATICAN	バチカン
7	11.715	CANADA	カナダ	31	11.830	VATICAN	バチカン
8	11.955	CANADA	カナダ	32	15.235	VATICAN	バチカン
9	6.195	BBC	イギリス	33	5.955	NEDRLAND	オランダ
10	9.410	BBC	イギリス	34	6.020	NEDRLAND	オランダ
11	12.095	BBC	イギリス	35	9.895	NEDRLAND	オランダ
12	15.310	BBC	イギリス	36	11.655	NEDRLAND	オランダ
13	6.090	FRANCE	フランス	37	5.985	CZECH	チェコ
14	9.790	FRANCE	フランス	38	6.105	CZECH	チェコ
15	11.670	FRANCE	フランス	39	9.455	CZECH	チェコ
16	15.195	FRANCE	フランス	40	11.860	CZECH	チェコ
17	6.000	DW	ドイツ	41	9.780	PORTUGAL	ポルトガル
18	6.075	DW	ドイツ	42	11.630	PORTUGAL	ポルトガル
19	9.650	DW	ドイツ	43	15.550	PORTUGAL	ポルトガル
20	9.735	DW	ドイツ	44	21.655	PORTUGAL	ポルトガル
21	5.990	ITALY	イタリア	45	9.650	SPAIN	スペイン
22	9.575	ITALY	イタリア	46	11.880	SPAIN	スペイン
23	9.675	ITALY	イタリア	47	11.910	SPAIN	スペイン
24	17.780	ITALY	イタリア	48	15.290	SPAIN	スペイン

CH番号	周波数(MHz)	名称	放送局名	CH番号	周波数(MHz)	名称	放送局名
49	6.055	NIKKEI	日本(日経)	70	6.045	INDIA	インド
50	7.315	NORWAY	ノルウェー	71	9.595	INDIA	インド
51	9.590	NORWAY	ノルウェー	72	11.620	INDIA	インド
52	9.925	NORWAY	ノルウェー	73	15.020	INDIA	インド
53	9.985	NORWAY	ノルウェー	74	7.190	CHINA	中国
54	6.065	SWEDEN	スウェーデン	75	7.405	CHINA	中国
55	9.490	SWEDEN	スウェーデン	76	9.785	CHINA	中国
56	15.240	SWEDEN	スウェーデン	77	11.685	CHINA	中国
57	17.505	SWEDEN	スウェーデン	78	6.135	KOREA	韓国
58	6.120	FINLAND	フィンランド	79	7.275	KOREA	韓国
59	9.560	FINLAND	フィンランド	80	9.570	KOREA	韓国
60	11.755	FINLAND	フィンランド	81	13.670	KOREA	韓国
61	15.400	FINLAND	フィンランド	82	6.165	JAPAN	日本
62	5.920	RUSSIA	ロシア	83	7.200	JAPAN	日本
63	5.940	RUSSIA	ロシア	84	9.750	JAPAN	日本
64	7.200	RUSSIA	ロシア	85	11.860	JAPAN	日本
65	12.030	RUSSIA	ロシア	86	5.995	AUSTRALIA	オーストラリア
66	7.465	ISRAEL	イスラエル	87	9.580	AUSTRALIA	オーストラリア
67	11.585	ISRAEL	イスラエル	88	9.660	AUSTRALIA	オーストラリア
68	15.615	ISRAEL	イスラエル	89	12.080	AUSTRALIA	オーストラリア
69	17.535	ISRAEL	イスラエル				

受信モード:AM

## ワイヤレスC (13チャンネル)

主要なワイヤレスマイクロホン(ワイヤレスC)で使われる周波数が登録されています。

チャンネル番号	周波数(MHz)	チャンネル番号	周波数(MHz)
1	322.025	8	322.275
2	322.050	9	322.300
3	322.075	10	322.325
4	322.100	11	322.350
5	322.125	12	322.375
6	322.150	13	322.400
7	322.250	-	-

## 救急無線 (20チャンネル)

救急無線(アナログ)で使われる周波数が登録されています。

チャンネル番号	周波数(MHz)		チャンネル番号	周波数(MHz)	
	基地局 <sup>*</sup>	移動局		基地局 <sup>*</sup>	移動局
1	146.040	142.040	11	147.420	143.420
2	146.080	142.080	12	147.440	143.440
3	146.760	142.760	13	147.460	143.460
4	146.780	142.780	14	147.480	143.480
5	146.800	142.800	15	147.500	143.500
6	146.820	142.820	16	147.740	143.740
7	146.840	142.840	17	147.760	143.760
8	146.860	142.860	18	147.780	143.780
9	146.880	142.880	19	152.030	148.030
10	147.400	143.400	20	153.110	149.110



- ※は基地局の周波数を示しています。[F MENU]キーを押す → [REV]にタッチすると、移動局の周波数(基地局の周波数-4.0MHz)が表示されが点滅して、移動局からの信号を受信することができます。
- 基地局の周波数に戻りたい場合は、もう一度、[F MENU]キーを押す → [REV]にタッチ。

## 消防無線 (85チャンネル)

消防無線(アナログ)で使われる周波数が登録されています。

チャンネル番号	周波数(MHz)	チャンネル番号	周波数(MHz)
1	148.010	21	151.150
2	149.130	22	151.190
3	149.150	23	151.210
4	149.610	24	151.230
5	149.630	25	151.270
6	149.710	26	151.310
7	149.730	27	151.430
8	149.750	28	151.550
9	150.070	29	151.570
10	150.170	30	151.590
11	150.190	31	151.630
12	150.270	32	151.670
13	150.290	33	151.690
14	150.310	34	151.710
15	150.330	35	151.750
16	150.350	36	151.810
17	150.450	37	152.010
18	150.470	38	152.070
19	150.750	39	152.090
20	151.110	40	152.230

チャンネル番号	周波数(MHz)	チャンネル番号	周波数(MHz)
41	152.270	FT4 <sup>※2</sup>	152.770
42	152.570	FT5 <sup>※2</sup>	152.810
43	152.790	FT6 <sup>※2</sup>	153.010
44	153.310	FT7 <sup>※2</sup>	153.530
45	153.430	FDG <sup>※3</sup>	153.350
46	153.510	F1 <sup>※4</sup>	466.3500
47	153.550	F2 <sup>※4</sup>	466.3625
48	153.590	F3 <sup>※4</sup>	466.3750
49	153.710	F4 <sup>※4</sup>	466.3875
50	153.750	F5 <sup>※4</sup>	466.4000
51	153.830	F6 <sup>※4</sup>	466.4125
52	153.850	F7 <sup>※4</sup>	466.4250
53	153.870	F8 <sup>※4</sup>	466.4375
54	154.070	F9 <sup>※4</sup>	466.4500
55	154.190	F10 <sup>※4</sup>	466.4625
56	154.290	F11 <sup>※4</sup>	466.4750
57	154.310	F12 <sup>※4</sup>	466.4875
FC1 <sup>※1</sup>	150.730	F13 <sup>※4</sup>	466.5000
FC2 <sup>※1</sup>	148.750	F14 <sup>※4</sup>	466.5125
FC3 <sup>※1</sup>	154.150	F15 <sup>※4</sup>	466.5250
FT1 <sup>※2</sup>	148.210	F16 <sup>※4</sup>	466.5375
FT2 <sup>※2</sup>	148.290	F17 <sup>※4</sup>	466.5500
FT3 <sup>※2</sup>	149.690		

市町村周波数57チャンネル(1～57)

※1: 全国共通周波数3チャンネル(FC1～FC3)

※2: 都道府県内共通周波数7チャンネル(FT1～FT7)

※3: 消防団専用周波数1チャンネル(FDG)

※4: 消防署活系周波数17チャンネル(F1～F17)

## 鉄道無線 (19チャンネル)

主要なJRの鉄道無線のチャンネルが登録されています。

チャンネル番号	周波数(MHz)	チャンネル番号	周波数(MHz)
J1	352.5375 (列車無線1基地局)	J11	352.6000 (列車無線6基地局)
J2	336.0375 (列車無線1移動局)	J12	336.1000 (列車無線6移動局)
J3	352.5500 (列車無線2基地局)	J13	352.6125 (列車無線7基地局)
J4	336.0500 (列車無線2移動局)	J14	336.1125 (列車無線7移動局)
J5	352.5625 (列車無線3基地局)	J15	352.6250 (列車無線8基地局)
J6	336.0625 (列車無線3移動局)	J16	336.1250 (列車無線8移動局)
J7	352.5750 (列車無線4基地局)	J17	414.4250 (Cタイプ入換波)
J8	336.0750 (列車無線4移動局)	J18	414.5500 (Cタイプ上り波)
J9	352.5875 (列車無線5基地局)	J19	415.2000 (Cタイプ下り波)
J10	336.0875 (列車無線5移動局)	-	-

## 国際VHF (57チャンネル)

国際VHF(マリン)無線で使われる周波数が登録されています。

チャンネル番号	周波数(MHz)		チャンネル番号	周波数(MHz)	
1	156.050	160.650 <sup>**</sup>	60	156.025	160.625 <sup>**</sup>
2	156.100	160.700 <sup>**</sup>	61	156.075	160.675 <sup>**</sup>
3	156.150	160.750 <sup>**</sup>	62	156.125	160.725 <sup>**</sup>
4	156.200	160.800 <sup>**</sup>	63	156.175	160.775 <sup>**</sup>
5	156.250	160.850 <sup>**</sup>	64	156.225	160.825 <sup>**</sup>
6	156.300		65	156.275	160.875 <sup>**</sup>
7	156.350	160.950 <sup>**</sup>	66	156.325	160.925 <sup>**</sup>
8	156.400		67	156.375	
9	156.450		68	156.425	
10	156.500		69	156.475	
11	156.550		70	156.525	
12	156.600		71	156.575	
13	156.650		72	156.625	
14	156.700		73	156.675	
15	156.750		74	156.725	
16	156.800		75	156.775	
17	156.850		76	156.825	
18	156.900	161.500 <sup>**</sup>	77	156.875	
19	156.950	161.550 <sup>**</sup>	78	156.925	161.525 <sup>**</sup>
20	157.000	161.600 <sup>**</sup>	79	156.975	161.575 <sup>**</sup>
21	157.050	161.650 <sup>**</sup>	80	157.025	161.625 <sup>**</sup>
22	157.100	161.700 <sup>**</sup>	81	157.075	161.675 <sup>**</sup>
23	157.150	161.750 <sup>**</sup>	82	157.125	161.725 <sup>**</sup>
24	157.200	161.800 <sup>**</sup>	83	157.175	161.775 <sup>**</sup>
25	157.250	161.850 <sup>**</sup>	84	157.225	161.825 <sup>**</sup>
26	157.300	161.900 <sup>**</sup>	85	157.275	161.875 <sup>**</sup>
27	157.350	161.950 <sup>**</sup>	86	157.325	161.925 <sup>**</sup>
28	157.400	162.000 <sup>**</sup>	87	157.375	
			88	157.425	

- ※は基地局の周波数を示しています。これらのチャンネルを選択すると基地局の周波数が表示されて  が点灯します。
- [F MENU]キーを押す → [REV]にタッチすると、船舶局の周波数(基地局の周波数-4.6MHz)が表示され  が点滅して、船舶局からの信号を受信することができます。
- 基地局の周波数に戻りたい場合は、もう一度、[F MENU]キーを押す → [REV]にタッチ。



## 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の事項を確認してください。

### ●電源が入らない

- 電池パックが消耗していませんか?
- お買い上げ直後または長期間使用していないときは、電池パックを充電してください。
- 電池パックは正しくセットしてありますか?  
取扱説明書(基本編)の“電池パックを取り付ける”を参照し、確実に取り付けてください。
- 外部電源の接続は間違っていないですか?
  - ・ケーブルのプラグは奥までしっかりと差し込んでください。
  - ・外部電源を使用するときには、必ずシガープラグ付き外部電源アダプター(SDD-13)または外部電源ケーブル(E-DC-6)を使用してください。
- 電池パックまたは外部電源の電圧は正常ですか?  
電池パックの場合は残量があること(過放電にしないこと)、SDD-13またはE-DC-6の出力電圧が約DC12Vであることを確認してください。

### ●音が出ない

- スケルチ(またはSメータースケルチ)のレベルや設定が大きくなっていませんか?
  - ・モニタースイッチを押して、ザーという音が出ることを確認してください。
  - ・弱い信号を受信するときは、スケルチ(またはSメータースケルチ)のレベルを調整してください。
- 音量が下がっていませんか?  
DIALツマミを右にまわして音量を大きくしてください。
- トーンスケルチまたはDCSがオンになっていませんか?  
トーンスケルチまたはDCSがオンのときには、設定したトーン周波数またはDCSコードが一致する信号以外は音は出ません。(一致していない信号を受信している間はTX/BUSY LEDが点滅します。)
- C4FMデジタルモードになっていませんか?
  - ・AMS機能をオフに設定してアナログFMモードの電波を受信したときは音がでません。
  - ・受信のDG-ID番号を“00”以外に設定しているときは、DG-ID番号が一致した信号以外は音が出ません。

### ●電波が出ない

- PTTスイッチは確実に押していますか?
- PTTロックがオンになっていませんか?
- ビジーTX禁止(受信CH送信ロック機能)がオンになっていませんか?  
ビジーTX禁止(受信CH送信ロック機能)がオンのときには、信号を受信しているときにPTTスイッチを押しても電波は出ません。信号がなくなるのを待ってからPTTスイッチを押してください。
- 送信周波数はアマチュアバンドになっていますか?  
エアーバンドや情報無線帯などアマチュアバンド以外の周波数では送信できません。
- 電池パックまたは外部電源の電圧は正常ですか?
  - ・電池パックの残量を確認してください。
  - ・また、送信時に電圧降下を起こすような外部電源では、本機の性能を十分に発揮することはできません。

### ●キーやDIALツマミを操作できない

- キーロックやDIALロックがオンになっていませんか?

### ●電池パックが充電できない/充電してもすぐ使えなくなる

- 電池パックを当社指定の充電器で充電していますか?
  - ・付属のバッテリーチャージャー(SAD-25B)またはオプションの急速充電用クレードル(CD-41)を使用して充電してください。また外部電源で充電する場合はシガープラグ付き外部電源アダプター(SDD-13)または外部電源ケーブル(E-DC-6)を使用してください。
  - ・外部電源で充電する場合はEXT DC IN端子でDC10.5~16Vの入力電圧範囲で充電してください。
- 消耗した電池パックを使用していませんか?  
充電中にディスプレイに“CHGERR”と表示された場合や10時間以上経っても充電できないときは、すぐに充電を中止してください。電池パックの寿命または不良の可能性があります。その場合は、新しい電池パックと交換してください。
- 周囲温度が、+5℃~+35℃の範囲内で充電してください。



本製品または他の当社製品についてのお問い合わせは、お買い上げいただきました販売店または、当社カスタマーサポートをお願いいたします。

**八重洲無線株式会社** カスタマーサポート

電話番号 0570-088013

受付時間 平日9:00～12:00、13:00～17:00

---

**八重洲無線株式会社** 〒140-0002 東京都品川区東品川 2-5-8 天王洲パークサイドビル

---